

平成20年度

三重県四日市保健福祉事務所年報
(平成19年度実績)

(発行) 三重県桑名保健福祉事務所

平成20年4月1日、四日市市保健所が設置されたことに伴い、三重県四日市保健福祉事務所は廃止されましたが、一部、四日市市保健所に移譲されなかった業務、三重郡3町にかかる保健所業務が、平成20年度から、三重県桑名保健福祉事務所に移管されました。

このため、本年報についても、桑名保健福祉事務所において調製しましたが、その構成については、平成19年度までの四日市保健福祉事務所年報のものを踏襲しています。

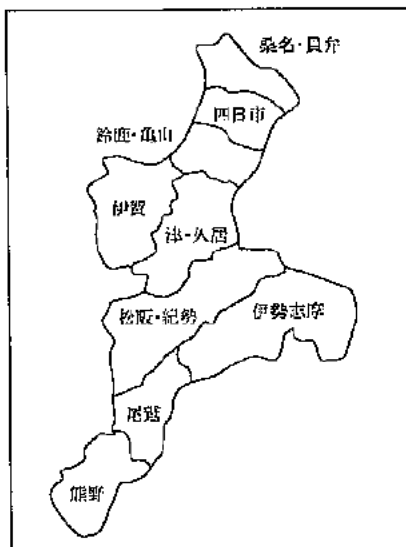
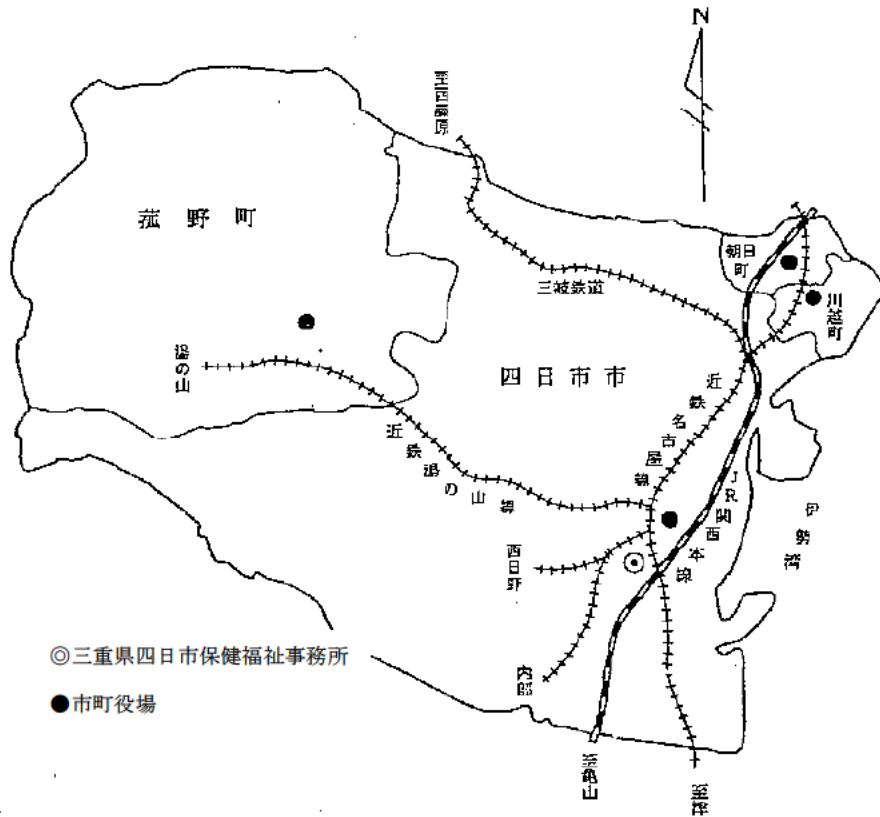
目 次

1 概 要	1
[福祉相談室]	
2 総務課	9
3 企画課	11
4 福祉課	27
5 生活保護課	35
[保健衛生室]	
6 健康増進課	37
7 地域保健課	49
8 衛生指導、食の安全・安心監視課	61

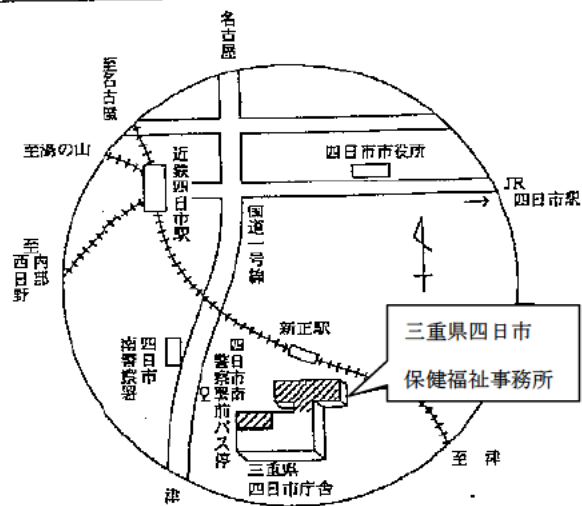
1 . 概 要

1 管 内 略 図	2
2 組 織 及 び 業 務	3
3 保 健 所 の 沿 革	4
4 平 成 1 9 年 度 歳 入 歳 出 決 算	6

1. 管内略図（平成19年4月1日現在）

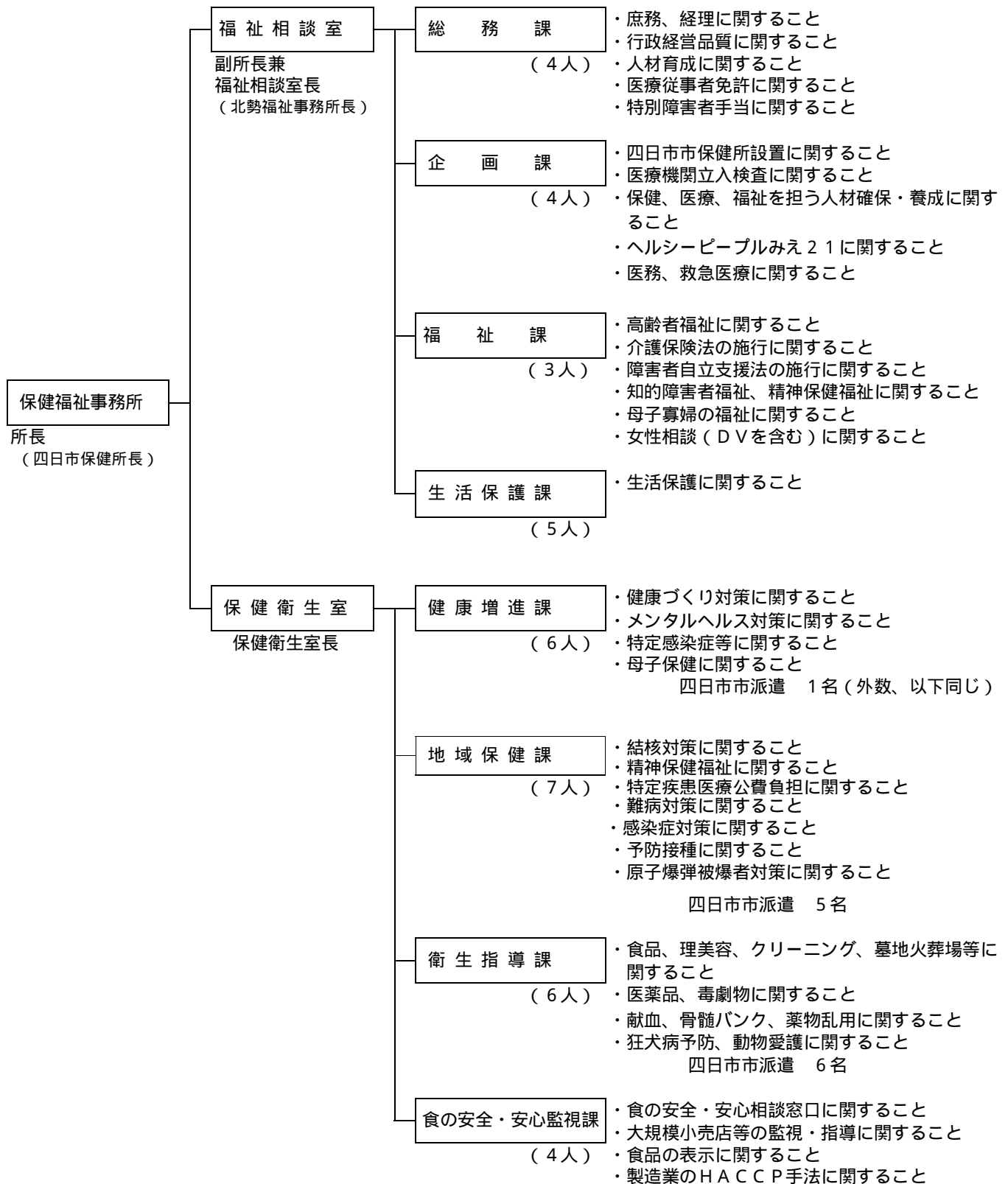


保健福祉部の位置



2. 組織及び業務（平成19年度）

平成19年4月1日現在



職員	業務補助員	四日市市派遣	現在員
42人	3人	12人	57人

3 . 保健所の沿革

昭和 12 年 4 月 5 日	保健所法公布（法律第 42 号）
昭和 18 年 12 月 18 日	県告示第 909 号により、四日市市千歳町 1 の 2 に四日市保健所として開設。四日市及び三重郡を管轄
昭和 19 年 10 月 1 日	逡信省所管四日市及び富田簡易保健相談所並びに三重県四日市健康保健相談所を併合
昭和 21 年 4 月 10 日	四日市市末永清水町、元蚕業取締所四日市支所跡に移転
昭和 22 年 7 月 1 日	四日市市警察署所管細菌検査所管理事務を移管される
昭和 22 年 9 月 5 日	新憲法において、内容を大幅に改定した保健所法公布（法律第 101 号）
昭和 23 年 10 月 18 日	公衆衛生実施修練施設に指定される（厚生省告示第 193 号）
昭和 24 年 10 月 1 日	優性保護相談併設（県告示第 587 号）
昭和 26 年 10 月 1 日	四日市西新地 14 の 8 に庁舎完成移転 指定医療機関（結核予防法第 36 条）に指定される
昭和 34 年 11 月 28 日	精神衛生相談所併設（県条例第 43 号）
昭和 35 年 8 月 15 日	次長制施行
昭和 38 年 8 月 1 日	公害係を設置（昭和 39 年 5 月 1 日より公害課）
昭和 42 年 7 月 31 日	県公害センター設置により公害課を移管
昭和 44 年 4 月 1 日	収入証紙制度実施
昭和 47 年 6 月 1 日	検査課を設置
昭和 48 年 2 月 27 日	現在地（四日市市新正 4 丁目 8 番 12 号）四日市庁舎完成移転
昭和 49 年 6 月 1 日	食品衛生機動班設置
昭和 51 年 4 月 1 日	環境課を設置
昭和 60 年 4 月 1 日	食品衛生専門監視機動班を設置
昭和 62 年 5 月 13 日	四日市市住居表示に関する条例に基づき、四日市市新正 4 丁目 21 番 5 号に表示変更
平成 5 年 4 月 1 日	保健婦室を保健指導課に名称変更
平成 6 年 7 月 1 日	保健所法が「地域保健法」へ改正
平成 9 年 4 月 1 日	保健予防課、保健指導課を廃止 企画調整課、地域保健課を設置
平成 10 年 4 月 1 日	行政システム改革に伴う組織改正 保健所・福祉事務所・児童相談所を統合し、北勢県民局四日市保健福祉部を設置。従来の課制がグループ制に改正され、企画総務、健康増進、福祉保健、衛生指導、検査、指導監査、児童の 7 グループが組織される。
平成 13 年 4 月 1 日	健康診断、検査業務の廃止

- 平成 14 年 4 月 1 日 チーム制導入による組織改正、経営企画（経営支援、計画調整）、保健衛生（健康増進、衛生指導、検査）、福祉相談（生活支援、子育て支援）、児童相談（相談判定第 1、相談判定第 2、児童保護）の 4 チーム（10 グループ）が組織される。
- 平成 15 年 4 月 1 日 保健衛生チームに食の安全・安心監視グループを設置
- 平成 16 年 4 月 1 日 室制導入による組織改正、総務室、保健衛生室（健康増進、衛生指導、食の安全・安心監視、検査）、福祉相談室（生活支援、子育て支援）、児童相談室（相談判定第 1、相談判定第 2、児童保護）の 4 室（9 グループ）が組織される。
- 平成 17 年 4 月 1 日 児童相談室（北勢児童相談所）が児童相談センターへの一元化により四日市保健福祉部から分離。生活保護行政については、三重郡、桑名郡、員弁郡の 5 町を所管。精神、特定疾患、母子保健等の業務が福祉相談室から保健衛生室に移管。これらの組織改正に伴い、総務室は総務企画室に名称変更され総務グループと企画市町村支援グループを設置、福祉相談室は生活保護グループと福祉グループに再編、保健衛生室には新たに地域保健グループが設置された。
- 平成 18 年 4 月 1 日 県民局制度が廃止され、北勢県民局四日市保健福祉部から健康福祉部直属の地域機関としての、四日市保健福祉事務所に組織を改正。同時にグループ制が廃止され課制となる。また、検査部門を津保健福祉事務所へ移管。総務企画室が廃止され、福祉相談室（総務課、企画課、福祉課、生活保護課）保健衛生室（健康増進課、地域保健課、衛生指導課食の安全・安心監視課）の 2 室 8 課体制となる。
- 平成 20 年 3 月 31 日 平成 20 年 4 月 1 日、四日市市保健所が設置されることに伴い、三重県四日市保健福祉事務所は廃止となる。
- このことにより、四日市市保健所に移譲されなかった四日市市にかかる保健所業務、三重郡 3 町にかかるすべての保健所業務、は桑名保健所が所管することとなる。
- また、福祉相談室（北勢福祉事務所）の組織についても、桑名保健福祉事務所が所管することとなる。

4 . 平成 1 9 年度歳入歳出決算

歳 入 (保健所分)

科	目	件 数	決算額 (円)
使用料及び手数料	保 健 所 手 数 料	40	21,220
	内訳 証明書等手数料	(40)	(21,220)
	病 院 開 設 等 手 数 料	13	382,200
	看 護 師 免 許 等 手 数 料	64	366,200
	栄 養 士 免 許 等 手 数 料	38	192,000
	動 物 取 扱 業 登 録 手 数 料	61	889,000
	飼 養 返 還 手 数 料	56	196,000
	ね こ 科 飼 養 許 可	1	20,000
	イヌの引き取り手数料	48	116,000
	ねこの引き取り手数料	18	29,000
	食品衛生法による許可手数料	1,594	14,358,600
	調 理 師 試 験 等 手 数 料	346	1,865,200
	製 菓 衛 生 師 試 験 等 手 数 料	69	509,600
	魚 介 類 行 商 営 業 許 可 手 数 料	6	5,220
	理 容 師 ・ 美 容 師 ・ ク リ ー ニ ン グ 師 等 手 数 料	32	501,600
	興 行 場 営 業 許 可 手 数 料	1	5,500
	公 衆 浴 場 許 可 手 数 料	6	132,000
	旅 館 業 許 可 手 数 料	6	132,000
	医 薬 品 営 業 許 可 手 数 料	103	1,587,200
	毒 物 劇 物 販 売 業 登 録 手 数 料	70	787,800
麻 薬 施 用 者 登 録 等 手 数 料	317	1,295,000	
	計	2,889	23,391,340
分担金及び負担金	未 熟 児 養 育 費 自 己 負 担 金	169	3,081,703
	計	169	3,081,703
雑 入	雇 用 保 険 料	24	35,125
	職 員 給 与 戻 入	-	-
	情 報 公 開 コ ピ ー 代	43	3,670
	通 帳 利 子	-	-
	医 学 生 実 習 費	-	-
	証 紙 買 い 戻 し に よ る 収 入	-	-
	被 爆 者 手 当 過 年 度 戻 入	-	-
	過 年 度 収 入	3	15,413
	計	70	54,208
合 計	3,128	26,527,251	

歳入（福祉事務所分）

科	目	件数	決算額（円）
雑入	雇用保険料	12	19,464
	預金利子	5	341
	生活保護法第63条返還金	8	7,903,475
	生活保護法第78条返還金	-	-
	母子生活支援施設入所者負担金	8	30,000
	過年度収入	5	317,085
	計	38	8,270,365
合	計	38	8,270,365

歳 出 (保健・福祉分)

科		目		決算額 (円)	備 考
総務費	総務管理費	人事管理費		109,950	
民生費	社会福祉費	社会福祉総務費		295,843,934	
		障害者福祉費		83,464,481	
		老人福祉費		10,057,657	
		社会福祉施設費		71,696,910	
	児童福祉費	母子福祉費		175,345	
		生活保護費		1,534,569	
		生活保護総務費		3,209,424	
		扶助費		3,209,424	
		救助費		209,017,589	
				424,620	
				208,592,969	
				152,440	
衛生費	公衆衛生費	公衆衛生総務費		83,275,123	
		結核対策費		68,025,316	
		予防費		62,466,366	
		精神衛生費		1,402,565	
	環境衛生費	食品衛生指導費		2,723,121	
		環境衛生指導費		1,433,264	
		保健所費		1,657,214	
		保健所費		1,623,214	
		医療費		34,000	
		医療従事者確保対策費		12,536,842	
		医療従事者養成費		12,536,842	
		薬務費		1,055,751	
				245,460	
				1,000	
				26,860	
				782,431	
農林水産業費	農業費	農作物対策費		105,450	
		農業経営対策費		105,450	
母子及び募婦福祉資金貸付事業費	母子及び募婦福祉資金貸付事業費	母子及び募婦福祉資金貸付事業費		52,800	
				52,650	
				13,500	
				13,500	
				13,500	
合	計			379,347,957	

職員給与費・官庁管理費は含まない。

2. 総務課

1	免許の申請、書き換え交付状況	10
2	団 体 育 成	10
3	「1日看護体験」の実施	10

1. 免許の申請、書き換え交付状況

平成 19 年度

	計	新規申請	書き換え	再交付
合計	493	289	190	14
医師	24	21	3	0
歯科医師	14	4	9	1
保健師	42	25	17	0
助産師	5	1	4	0
看護師	220	128	87	5
准看護師	28	9	15	4
歯科技工士	4	1	2	1
栄養士	38	29	7	2
臨床検査技師	13	7	6	0
衛生検査技師	1	0	1	0
診療放射線技師	6	5	1	0
理学療法士	18	11	6	1
作業療法士	16	10	6	0
薬剤師	31	14	17	0
管理栄養士	33	24	9	0
視能訓練士	0	0	0	0

2. 団 体 育 成

平成 19 年 4 月 1 日現在

団 体 名	会長（支部長）	副会長（副支部長）
国保連合会北勢支部	山田 信博	
県老人クラブ連合会北勢支部	休会中	
県身体障害者福祉連合会四日市ブロック	山本 征雄	

3. 「1日看護体験」の実施

高校生が夏休みの1日を、医療機関において看護業務を体験することにより、看護の実際を理解し、看護職志望を促す機会を提供しました。11校延べ115人の参加がありました。

3 . 企画課

1 管内人口の動向	12
2 人口動態の動向	14
3 ヘルシーピープルみえ・21の取組み	19
4 研 修	24
5 学 生 実 習 等	24
6 病院・診療所立入検査	25
7 医 務	25

1 . 管内人口の動向

(1) 管内市町面積・世帯数・総人口

	面積 (km ²)	世帯数	総人口	人口密度 (人 / km ²)	老年人口 割合 (%)	後期高齢 人口割合 (%)
	(平成 19.10.1 現在)	(平成 19.10.1 現在)	(平成 19.10.1 現在)			
管内	327.51 (326.75)	137,944 (135,035)	367,450 (365,020)	1,124.2 (1,117.9)	19.5 (19.3)	8.6 (8.4)
四日市市	205.53	116,425	306,282	1,491.9	19.3	8.4
菰野町	107.28	13,451	39,576	370.2	21.7	10.4
朝日町	5.99	3,039	8,347	1,398.0	19.4	8.4
川越町	8.71	5,029	13,245	1,520.7	18.0	8.2

面積、世帯数、総人口 三重県政策部統計室
 老年人口割合：65 歳以上人口が全人口に占める割合
 後期高齢人口割合：75 歳以上人口が全人口に占める割合
 () は前年数値

(2) 市町村別・性別・年齢区分別人口

平成 19 年 10 月 1 日現在

		年 齢 別 人 口 構 成				
		総 数	15 歳未満	15～64 歳	65 歳以上	不 詳
管 内	総数	367,450	54,950	239,463	71,814	1,223
	男	181,741	28,029	121,698	31,144	870
	女	185,709	26,921	117,765	40,670	353
四日市市	総数	306,282	45,095	200,828	59,246	1,113
	男	151,667	23,034	102,130	25,692	811
	女	154,615	22,061	98,698	33,554	302
菰野町	総数	39,576	6,089	24,827	8,577	83
	男	19,345	3,064	12,521	3,718	42
	女	20,231	3,025	12,306	4,859	41
朝日町	総数	8,347	1,483	5,239	1,616	9
	男	4,155	761	2,668	720	6
	女	4,192	722	2,571	896	3
川越町	総数	13,245	2,283	8,569	2,375	18
	男	6,574	1,170	4,379	1,014	11
	女	6,671	1,113	4,190	1,361	7

		18 歳 未 満 人 口 の 構 成				
		0～5 歳	6～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	計
管 内	総数	21,354	22,573	11,023	10,782	65,732
	男	10,829	11,559	5,641	5,485	33,514
	女	10,525	11,014	5,382	5,297	32,218
四日市市	総数	17,485	18,462	9,148	8,956	54,051
	男	8,876	9,479	4,679	4,551	27,585
	女	8,609	8,983	4,469	4,405	26,466
菰野町	総数	2,141	2,684	1,264	1,256	7,345
	男	1,039	1,369	656	644	3,708
	女	1,102	1,315	608	612	3,637
朝日町	総数	751	501	231	197	1,680
	男	397	249	115	99	860
	女	354	252	116	98	820
川越町	総数	977	926	380	373	2,656
	男	517	462	191	191	1,361
	女	460	464	189	182	1,295

2 . 人口動態の動向

(1) 市町別人口動態件数及び率

平成 18 年確定数

市 町 名	人口 (H18.10.1)	出 生		死 亡		乳 児 死 亡		新 生 児 死 亡	
		数	率 (人口千対)	数	率 (人口千対)	数	率 (出生千対)	数	率 (出生千対)
管 内	365,020	3,544	9.7	2,932	8.0	12	3.4	7	2.0
四日市市	304,941	2,938	9.6	2,445	8.0	11	3.7	7	2.4
菰野町	39,298	346	8.8	331	8.4	-	-	-	-
朝日町	7,668	99	12.9	56	7.3	-	-	-	-
川越町	13,113	161	12.3	100	7.6	1	6.2	-	-
三重県	1,867,696	15,816	8.5	17,156	9.2	45	2.8	25	1.6

市 町 名	死 産		周産期死亡		婚 姻		離 婚		合計特殊 出生率 注 1
	数	率 (出産千対)	数	率 (出産千対)	数	率 (人口千対)	数	率 (人口千対)	
管 内	90	24.8	28	7.9	2,203	6.0	722	1.98	1.44
四日市市	76	25.2	22	7.5	1,877	6.2	604	1.98	1.44
菰野町	7	19.8	2	5.7	176	4.5	67	1.70	1.39
朝日町	3	29.4	1	10.0	50	6.5	15	1.96	1.60
川越町	4	24.2	3	18.3	100	7.6	36	2.75	1.55
三重県	426	26.2	83	5.2	9,889	5.3	3,508	1.88	1.36

注 1 : 合計特殊出生率とは、女子の年齢別出生率の合計で 1 人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時のこども数を表す。

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{ 15 歳から 49 歳までの合計}$$

(2) 市町別主要死因別死亡者数

平成 18 年確定数

	全死因	結核	悪性 新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患	脳血管 疾患	大動脈瘤 及び解離	肺炎
管内	2,932	7	871	37	13	443	314	29	283
四日市市	2,445	6	736	28	11	362	253	26	230
菰野町	331	0	93	5	2	58	40	2	36
朝日町	56	0	12	2	0	9	7	0	7
川越町	100	1	30	2	0	14	14	1	10
三重県	17,156	33	4,718	222	112	2,792	2,022	174	1,634

	慢性閉塞 性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事故	自殺	交通事故	その他
管内	53	7	41	56	105	120	73	39	441
四日市市	48	6	33	48	89	107	61	35	366
菰野町	3	1	6	4	13	8	9	3	48
朝日町	2	0	1	2	2	3	1	1	7
川越町	0	0	1	2	1	2	2	0	20
三重県	248	38	193	368	815	745	398	213	2,431

市町別主要死因別年齢調整死亡率（人口 10 万対）注 2

	全死因	結核	悪性 新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患	脳血管 疾患	大動脈瘤 及び解離	肺炎
管内	424.24	0.97	137.18	5.12	1.33	59.83	40.12	4.03	33.58
四日市市	429.95	1.07	139.68	4.69	1.42	58.66	39.91	4.37	33.50
菰野町	386.53	-	119.52	5.11	1.16	70.35	38.41	2.86	31.93
朝日町	368.88	-	103.90	14.57	-	51.88	40.55	-	39.44
川越町	463.05	2.26	158.43	9.98	-	63.74	47.49	2.26	41.33
三重県	413.49	0.70	126.77	5.58	2.10	61.83	43.59	4.09	30.57

	慢性閉塞 性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事故	自殺	交通事故
管内	6.40	0.78	7.42	6.94	10.00	20.92	18.07	8.54
四日市市	7.03	0.84	7.38	7.43	10.59	22.63	17.86	8.93
菰野町	4.06	0.58	8.34	3.33	9.13	12.62	20.17	8.52
朝日町	8.52	-	6.18	8.52	8.52	16.42	13.37	7.90
川越町	-	-	6.25	6.43	2.26	7.89	17.29	-
三重県	4.88	0.84	6.00	7.22	11.86	23.60	18.72	9.13

(3) 市町別性別悪性新生物部位別死亡者数

平成 18 年確定数

	性別	総 数	食 道	胃	結 腸	直腸 s 状 結腸移行部 及び直腸	肝 及 び 肝内胆管
管 内	男	543	15	88	46	23	51
	女	328	4	45	39	13	23
四日市市	男	461	13	74	40	17	44
	女	275	3	42	25	13	21
菰野町	男	53	0	7	5	3	5
	女	40	1	3	8	0	2
朝日町	男	7	0	0	1	2	1
	女	5	0	0	4	0	0
川越町	男	22	2	7	0	1	1
	女	8	0	0	2	0	0

	性別	胆のう及 びその他 の胆道	膵	気 管、 気 管 支 及 び 肺	乳 房	子 宮	白血病	その他
管 内	男	24	24	148	0	-	13	111
	女	19	30	44	22	13	8	68
四日市市	男	22	18	125	0	-	12	96
	女	17	23	38	21	8	8	56
菰野町	男	2	5	15	0	-	1	10
	女	2	7	6	0	2	0	9
朝日町	男	0	0	2	0	-	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	1
川越町	男	0	1	6	0	-	0	4
	女	0	0	0	1	3	0	2

(4) 市町別低体重児数

平成 18 年確定数

	低体重児数(率)			1.0 kg未満		
	総数	男	女	総数	男	女
管内	386 (10.9)	175 (9.8)	211 (12.0)	12	3	9
四日市市	330 (11.2)	153 (10.4)	177 (12.1)	10	3	7
菰野町	31 (9.0)	11 (6.3)	20 (11.8)	1	0	1
朝日町	8 (8.1)	2 (3.6)	6 (14.0)	1	0	1
川越町	17 (10.6)	9 (11.7)	8 (9.5)	0	0	0
三重県	1,481 (9.4)	678 (8.4)	803 (10.3)	46	19	27

	1.0 kg以上～1.5 kg未満			1.5 kg以上～2.0 kg未満			2.0 kg以上～2.5 kg未満		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
管内	19	12	7	52	23	29	303	137	166
四日市市	16	11	5	42	19	23	262	120	142
菰野町	2	1	1	4	2	2	24	8	16
朝日町	1	0	1	3	0	3	3	2	1
川越町	0	0	0	3	2	1	14	7	7
三重県	69	38	31	202	108	94	1,164	513	651

注2：年齢調整死亡率(旧訂正死亡率) =
$$\frac{\left\{ \left[\begin{array}{l} \text{観察集団の各年齢} \\ \text{(年齢階級)の死亡率} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{基準人口のその年齢} \\ \text{(年齢階級)の人口} \end{array} \right] \right\} \text{の各年齢(年齢階級)の総和}}{\text{基準人口の総和}}$$

年齢構成が著しく異なる人口集団の間での死亡率や、特定の年齢層に偏在する死因別死亡率などについて、その年齢構成の差を取り除いて比較する場合に用いる。これを標準化死亡率という場合もある。基準人口としては昭和60年モデル人口を用いている。

(5) 各種統計・報告

1. 母体保護統計

不妊手術及び人工妊娠中絶の実施状況を把握し、母体保護に関する諸施策推進の為の基礎資料とする。

(1) 人工妊娠中絶届出数(年齢別・在胎週別)

(平成19年度)

年齢別 在胎週別	総数	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～	不詳
総数	829	98	182	172	169	161	43	4	0	0
満7週以内	568	58	124	118	118	115	33	2	0	0
8～11週以内	206	30	45	44	37	40	8	2	0	0
12～15週以内	35	8	7	7	9	3	1	0	0	0
16～19週以内	16	1	5	3	4	2	1	0	0	0
20～21週以内	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0

2. 母子保健報告

三重県における母子保健に関する情報を収集・解析することにより、地域母子保健医療対策の確立および推進を図る。(県健康福祉部で集計)

3. 地域保健・老人保健事業報告

地域住民の健康の保持増進を目的とした地域の特性に応じた保健対策の展開等を実施主体である保健所及び市町村ごとに把握し、地域保健施策の推進のための基礎資料とする。

4. 福祉行政報告例(月報・年報)

社会福祉関係諸法規の施行に伴う行政の実態を数量的に把握して、社会福祉行政運営のための基礎資料とする。

5. 病院報告

医療法に基づいて病院と療養型病床群を有する診療所における患者の利用状況と病院の従事者の状況を把握する。

6. 医療施設調査

医療施設の分布及びその機能の実態を明らかにするために実施され、3年毎に静態調査、月毎に動態調査を実施する。

3. ヘルシーピープルみえ・21の取り組み

当保健福祉事務所では平成13年度から「ヘルピー活性化会議」を設置し、健康づくりに関わる地域の関係者が集まって健康課題を議論してきましたが、その中で「生まれてから死ぬまでの健康情報が引き継がれていく取り組みをこの地域でやってはどうか」という提案が出され、平成14年度に産・官・民の代表の参加を得て「ヘルピー小委員会」を立ち上げ、生涯を通じて健康情報を管理するための“私の健康手帳”の検討が始まりました。

平成15年度末、FDによる“私の健康手帳”の作成をもって事業のひと区切りをつけることができ、平成16年度は個人や企業が健康管理記録としてこの健康手帳を活用し、生涯を通じた健康情報の円滑な継承と健康づくりへの有効活用等の検証を行っていく上で、関係機関との連携を具体化していくこととなりました。時を同じくして四日市市健康づくり計画「健康づくり21～元気でくらそに！～」が策定され、企業城下町四日市市が「職域保健」との連携を掲げ、地域・職域保健の連携事業に取り組み始めました。

平成12年度国勢調査の結果、管内15歳以上労働人口は同世代の60.3%を占めており、平成13年度事業所・企業統計調査によると従業員50人未満の小企業が管内企業全体の93%を占め、全就労者の6割強が従業員50人未満の事業所に就業しています。また、平成16年度三重県が実施した「県内事業者調査」結果で、中小企業において健診未実施のところが15%にのぼり、従業員の健康づくりへの支援体制が弱いことが明らかになりました。

これらを受けて当保健福祉事務所では、ヘルピーの第2ステップとして平成16年度から平成18年度までの3年間で、生涯を通じた継続的な健康管理の中に働く世代の健康づくりを位置づけ、それを支えるための地域保健と職域保健の連携体制を整備していくこととしました。

平成16年度は関係者を対象とした研修会を開催し、情報交換や連携の必要性について多くの方の理解を得ることができました。平成17年度は関係者による三四地区地域・職域保健連携推進協議会を立ち上げ、協議会の場で「働く世代の健康を守る」上での課題とその改善策を検討することができました。平成18年度は協議会参加委員の合意のもとに決めた今後の取り組み目標に向けて、協議会を母体として関係機関間の連携・協力体制を強化し、具体的な事業を展開しました。

平成19年度も引き続き具体的な事業やウォーキングマップなどの啓発資料を作成するとともに、平成20年度から始まる特定健診・特定保健指導の実施に向けた関係者の情報共有の取り組みを行いました。

1. 地域保健・職域保健の連携

1) 平成19年度の取り組み

(1) 三四地区地域・職域保健連携推進協議会

協議会構成員

職域保健関係：産業保健推進センター、地域産業保健センター
社会保険健康事業財団、労働基準監督署、
労働基準協会、企業（事業協同組合）、
商工会議所（商工会）

地域保健関係：市町保健センター、保健所、地区組織

その他：医師会、健診事業者、学識経験者（産業医）

開催状況・検討内容



日 時	議 題（平成19年度）
第1回 平成19年10月15日 四日市庁舎 参加委員 21名 その他 5名	1. 講演 「特定健診・特定保健指導と地域職域連携推進協議会の役割」 講師：大阪大学医学系研究科教授 荒木田美香子氏 2. 来年度の特定健診・特定保健指導へ向けての情報交換 1) 三重県の状況 2) 四日市保健福祉事務所管内の状況

	<p>3. 今後の取り組みについて</p> <p>(1) 第1回作業部会の報告</p> <p>(2) 健康づくりモデル事業について</p> <p>(3) 共通の社会資源 資源マップの作成について</p> <p>(4) 啓発用ポスター紹介</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 委員の任期等について</p>
<p>第2回 平成20年3月4日 四日市庁舎 参加委員 23名 その他 5名</p>	<p>1. 特定健診・特定保健指導に向けての地域・職域保健の連携について</p> <p>1) 「三重県の地域・職域保健連携推進事業にかかわって」 講師：大阪大学医学系研究科教授 荒木田美香子氏</p> <p>2) 三重県の状況</p> <p>2. 平成19年度の協議会事業について</p> <p>1) モデル事業の実施とその他の取り組み</p> <p>2) 啓発事業</p> <p>3) ウォーキングマップの作成</p> <p>3. 県四日市保健所の廃止に伴う今後の協議会のあり方について</p>

(2) 三泗地区地域・職域保健連携推進協議会作業部会
作業部会構成員

職域保健関係：地域産業保健センター、
社会保険健康事業財団、産業保健師
地域保健関係：市町保健センター、保健所、地区組織
その他：健診事業者
開催状況・審議内容



日 時	議 題 (平成19年度)
<p>第1回 平成19年6月7日 参加委員13名 その他 2名</p>	<p>1. 講演 「平成20年度特定健診・特定保健指導実施に関する最新の情報と課題 について～国の状況を中心に～」 講師：大阪大学医学系研究科教授 荒木田美香子氏</p> <p>2. 情報提供 「三重県の状況と今後の方向性について」</p> <p>3. 作業部会役員の改選</p> <p>4. 平成18年度作業部会における取り組みの経緯</p> <p>5. 各所属における現状と課題について</p> <p>6. 平成19年度の作業部会の取り組みについて</p>
<p>第2回 平成19年12月21日 参加委員9名</p>	<p>1. 第1回三泗地区地域・職域保健連携推進協議会報告</p> <p>2. 健康マップの作成</p>

(3) 連携事業

平成18年度に協議会及び作業部会で検討した今後の取り組み目標に向け、協議会参加機関を母体に作業部会と連動して具体策を進めながら、各支援機関の役割を確認し、連携内容を明確化していきます。

ウォーキングマップの作成・配付・活用について

事業主へのPRのための健康教育
 モデル事業所の取り組み（小規模事業所2社）
 その他
 職場のメンタスヘルスサポーター養成講座の開催
 菰野町国保ヘルスアップモデル事業の実施
 地域活動栄養士による事業所における健診後のフォロー

(4) 人材育成

日時	内容	主催
平成17年12月21日	地域・職域保健従事者研修会 国保ヘルスアップ事業 「地域・職域保健の連携による健康支援の 実践から」 石川県小松市役所 保健師 茗荷谷弘子 氏	四日市保健福祉事務所
平成18年3月22日	効果的な保健事業の考え方・つくり方・ 伝え方 明治安田生命厚生事業財団 研究員 甲斐裕子 氏	四日市保健福祉事務所
平成18年11月27日	医療制度改革と地域職域連携 大阪大学医学系研究科 教授 荒木田美香子 氏	四日市保健福祉事務所
平成18年12月6日	糖尿病の最新治療と保健指導 四日市社会保険病院 内科医長 古田雅彦 氏	社会保険健康事業財団 三重県支部
平成19年1月31日	ヘルスプロモーションを保健活動の軸に 三重県鈴鹿保健福祉事務所 所長 佐甲隆 氏	四日市保健福祉事務所
平成19年3月2日	保健指導でやる気を引き出す働きかけの ポイント ～健康行動理論に基づいて～ 医師 松本千明 氏	四日市保健福祉事務所
平成19年3月15日	標準的な健診・保健指導のプログラムに ついて 社会保険健康事業財団保健部 部長 松田一美 氏	社会保険健康事業財団 三重県支部
平成19年8月30日	平成20年度からの特定健診・特定保健指 導を活かした健康づくり 四日市看護医療大学 学長 河野啓子 氏	桑名保健福祉事務所
平成19年11月19日	職場復帰サポート 日立キャピタル損害保険株式会社ニアメィカル アドバイザー-NPO法人MDA 代表 山口律子 氏	四日市保健福祉事務所

2) 成果

平成19年度は平成18年度に引き続き、事業主の健康管理への意識を高めるための啓発活動やモデル事業所への支援を継続することにより、各関係機関のサービスを必要な人に繋げつつ、関係機関の連携方法や役割をより明確にすることが出来ました。

また、平成20年度の医療制度改革による、特定健診・特定保健指導の義務化に向け、保険者がスムーズに被保険者とその家族へのサービスを提供できるよう体制整備に取り組むことが出来ました。

2. こころの健康づくり

1) 平成19年度の取り組み

(1) 精神保健福祉研修会

会場： 県四日市庁舎 6階 大会議室

	内 容	講 師	日 時	出席者数
1	・ 講義 基礎知識の理解 (ストレス・うつ病・職場のメンタルヘルス) 専門知識の理解 (PTSD・自殺予防) ・メンタルヘルス技法の知識と体験	こころの健康センター 所長 崎山 忍氏 保健福祉事務所保健師	5月23日 13:00～ 17:00	142名
2	・ 講義 専門知識の理解 (睡眠障害・高齢者のメンタルヘルス)	こころの健康センター 医師 臼井 卓士氏	6月13日 13:30～ 16:30	73名
3	・ 講義 疾患の理解と対応 (統合失調症・パーソナリティ障害等)	総合心療センター ひなが 医師 浅井 慶介氏	6月25日	83名
4	・ 講義と演習 積極的傾聴の知識と体験	産業カウンセラー 前田 隆司 氏	7月11日 10月1日 10月29日	42名 29名 16名
5	・ 講義と演習 メンタルヘルス技法の知識と体験 (交流分析等)	交流分析士 山口 節子氏	8月22日	42名
6	・ 講義と演習 メンタルヘルス技法の知識と体験 (認知療法等)	ボンティキュラス心理 研究所 所長 小林 展子氏	8月13日	52名
7	精神保健福祉総論 (関連法の理解)	障害福祉室 主幹 橋倉 恵津子氏 主事 三上 政和氏	5月16日	55名
8	精神障害等ソーシャルワーク技術	障害福祉室 専門監 村木顕太郎氏 主事 三上 政和氏	10月10日	28名
9	・ 講義 職場復帰サポート	MDA JAPAN 代表 山口 律子 氏	11月19日	109名

2) こころの健康教育

	内 容	講 師	日 時	出席者数
1	四日市市リスナー養成講座 「エゴグラム」グループワーク 「ストロークと認知療法」	市保健師 保健福祉事務所保健師	6月12日	30名
2	四日市市リスナー養成講座 「アサーティブ」	市保健師 保健福祉事務所保健師	6月19日	23名
3	三重郡第1回栄養教室 「健康づくり総論・肯定的ストローク」	保健福祉事務所保健師	6月26日	32名
4	こころの健康公開講座 「ストレスに打ち勝つメンタルトレーニング」	メンタルトレーニング 施設企画 代表 岡本 正善 氏	20年 1月28日	157名
5	県社協 テーマ別技術研修会 講義 「うつ傾向な人、ひきこもりがちな人への	保健福祉事務所保健師	20年2月4日	22名

	リスニング」			
6	川越町リスナー養成研修会 講義と演習 「エゴグラム」 「わかちあい」 「ストローク」	こころの健康センター 保健師 川越町保健師 保健福祉事務所保健師	20年3月3日	32名

2) 成果

精神保健福祉研修会では、企業をはじめ、市町、関係職員の多数の参加を得ることが出来、普及啓発や関係者へのスキルアップを図ることができました。

3. たばこ対策

健康日本 21 の基盤整備のひとつとして、平成 14 年 7 月に健康増進法が公布され、平成 15 年 5 月の法施行に伴い、禁煙対策は我が国の健康政策の大きな柱に位置づけられました。その中では、行政や企業が積極的に個人の禁煙支援を行うことがすすめられ、より効果的な禁煙支援の方策を検討することが公衆衛生上の重要な課題となってきました。

また 2006 年 4 月にはわが国の保険診療上初めて禁煙治療に対する保険適用（ニコチン依存症管理料）が認められ、さらに 6 月 1 日からはニコチンパッチが薬価基準収載となり、保険診療体制が整うなど、国家政策として禁煙環境が整備されてきています。

1) 平成 19 年度の取り組み

(1) 禁煙サポート

住民からの問い合わせに対応するため、平成 18 年度は、四日市医師会の協力を得て管内保険診療適用医療機関を調査しホームページ上で情報提供を行いました。

(2) 啓発

- ①飲食店の「たばこの煙の無いお店」に関するチラシの配布
- ②世界禁煙デー啓発物の配布 近鉄四日市駅 500人
- ③イベントでの普及啓発の実施



実施日	実施内容	参加者
平成 19 年 11 月 18 日 (日)	菰野町文化祭 禁煙相談・呼気CO濃度測定・パンフレット配布・ タバコクイズ	40人

④スモーカーライザーの貸出

(株)魚国総本社三重支社 2回

4. 食環境整備

栄養・食生活

1) 平成 19 年度の取り組み

地域全体として健康的な食生活の実践に多くの住民が取り組めるように、食事バランスガイドを中心に普及啓発や人材育成を行なうとともに、健康的な食生活、食習慣の形式期にある幼児期からの食育の推進に取り組みました。

(1) 食事バランスガイドの普及啓発

- ①研修会 4回
- ②普及啓発キャンペーン 1回
- ③他団体との協働事業 1回

(2) 人材育成

- ①食育ボランティア講座 1回
- ②地区組織支援研修会 2回

(3) 幼児期からの食育の推進

食事バランスガイドの普及啓発キャンペーン中



研修会の開催 1回
朝食欠食ゼロ推進健康教育支援 11回

2) 成果

食事を楽しみ、食事のセルフコントロールができる人を増やすために、地区組織等との協働により食事バランスガイドの普及・啓発に積極的に取り組むことができました。今後も継続して取り組むことによりいろいろな世代への広がりや定着が期待できます。

また、幼児期からの健康的な食生活を推進するために、保育園や幼稚園等の保護者を対象に地区組織等と協働で朝ごはんの大切さや具体的なメニュー紹介等、具体的な取り組みをすることができました。今回の取り組みを通じて、今後、各家庭や各施設での食育が推進されるものと思われま

5. 平成 20 年度の取り組み

平成 20 年 3 月末をもって四日市保健所は廃止され、これらの事業は四日市市保健所と桑名保健福祉事務所が担当することになります。四日市保健福祉事務所での実践がそれぞれの地域で活かされるよう、関係者と協働し取り組んでいきます。

4 . 研修

1) 管内保健師研修会

実施日	内容	参加者数
平成 19 年 8 月 30 日 (桑名保健福祉事務所主催)	講演 「平成 20 年度からの特定健診・特定保健指導を活かした健康づくり」 講師：四日市看護医療大学 学長 河野 啓子 氏	6 名
平成 19 年 11 月 16 日 (菰野町役場と共催)	講演 「災害時の救援活動の実際と平時からの必要な対策」 講師：兵庫県災害医療センター 顧問 鶴飼 卓 氏	15 名
平成 19 年 11 月 19 日	講演 「職場復帰のサポート」 講師：日立キャピタル外選外保険株式会社シアティカルパルイ -NPO 法人 MDA 代表 山口 律子 氏	26 名

5 . 学生実習等

1) 実習生指導

学校名等	人員	グループ数	実習日数
三重大学医学部看護学科(地域看護実習)	6 名	2G	20 日
三重県立看護大学看護学科	2 名	1G	10 日
名古屋学芸大学	3 名	2G	10 日
武庫川女子大学	1 名		
名古屋女子大学	1 名		
椙山女学園大学	2 名		
鈴鹿医療科学大学栄養学科	1 名		
新医師臨床研修	7 名	-	14 週

6 . 病院・診療所立入検査

医療法等関係法令に基づき、桑名、四日市、鈴鹿保健福祉部管内の病院及び診療所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行い、適正且つ良質な医療を確保するための指導助言を行いました。

(病院・診療所立入検査の状況)

平成 19 年度

区 分		公 立	医療法人立	そ の 他	合 計
対象施設数	病 院	5	30	9	44
	診 療 所	0	17	74	91
	合 計	5	47	83	135
検査延件数	病 院	5	30	9	44
	診 療 所	0	16	71	87
	合 計	5	46	80	131

7 . 医 務

医療法等関係法令に基づき、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務及び構造設備の適正管理等について確認検査を行いました。

医療従事者については、免許の申請・書換・再交付等の事務を行いました。

(1) 市町別医務施設数

平成 20 年 3 月末現在

	病 院	一般診療所	歯科診療所	歯科技工所	助 産 所	施 術 所	合 計
四日市市	13	244	155	41	3	204	660
菰野町	3	20	13	4	1	29	70
朝日町	0	7	3	0	0	8	18
川越町	0	8	5	0	0	3	16
三重郡計	3	35	21	4	1	40	104
管内計	16	279	176	45	4	244	764

(2) 確認検査と開設・廃止状況(件数)

	確認検査	開設許可	開設届	廃止	使用許可
病院	6	0	0	0	26
一般診療所	19	4	18	19	2
歯科診療所	6	0	6	5	1
歯科技工所	0	0	0	0	0
助産所	1	0	1	0	0
施術所	12	0	12	12	0
総数	44	4	37	36	29

(3) 市町別病院及び許可病床数

	許可病床数							備考
	一般	救特	療養	精神	結核	感染	総数	
三重県立総合医療センター	442	30				4	446	
市立四日市病院	566					2	568	
四日市社会保険病院	243	20			20		263	
みたき総合病院	74		88				162	
主体会病院	105		123				228	
小山田記念温泉病院	170		220				390	
二宮病院	0		38				38	
富田浜病院	62		83				145	
総合心療センターひなが				580			580	
山中胃腸科病院	73		20				93	
石田胃腸科病院	38						38	
水沢病院			38	196			234	
四日市青洲病院			30				30	
四日市市計	1,773	50	640	776	20	6	3,215	
菰野厚生病院	146		84				230	
三愛病院	20		20				40	
三重聖十字病院	25						25	
菰野町計	191	0	104	0	0	0	295	
三重郡計	191	0	104	0	0	0	295	
総数	1,964	50	744	776	20	6	3,510	

一般診療所の療養病床：47床

4 . 福 祉 課

1 福 祉 の 状 況	28
(1) 社 会 福 祉 施 設	28
(2) 介 護 保 険	29
(3) 高 齢 者 福 祉	31
(4) 身 体 障 害 者 福 祉	32
(5) 知 的 障 害 者 福 祉	32
(6) 児 童 福 祉	32
(7) 母 子 福 祉	33
(8) 女 性 相 談	33

1 . 福祉の状況

(1) 社会福祉施設

社会福祉施設の状況

平成 20 年 4 月 1 日現在 (単位 : ヶ所)

設置種別		市 町 名	四 日 市	菰 野 町	朝 日 町	川 越 町	合 計	県 計	県 対 比 (%)
生活保護施設	救護施設			2			2	3	66.7
児童福祉施設	児童館		4		1		5	46	10.9
	保育所		51	7	3	4	65	436	14.9
老人福祉施設	養護老人ホーム		1	1			2	21	9.5
	特別養護老人ホーム		12	2	1		15	107	14.4
	軽費老人ホーム		6	1		1	8	32	25.0
	老人福祉センター		2	1	1	1	5	33	14.7
	老人憩いの家			1			1	53	1.9
	有料老人ホーム		14			1	16	44	41.7
	グループホーム		8	3	1	3	15	140	11.6
	デイサービスセンター		57	8	1	2	68	478	14.2
	老人介護支援センター		25				25	116	20.2
	介護老人保健施設		6	3		1	10	60	17.5
障がい者福祉施設	指定生活介護事業所		5	1			6	46	13.0
	指定就労移行支援事業所		4				4	12	33.3
	指定就労継続支援(B型)事業所		4				4	23	17.4
	指定生活訓練事業所		1				1	9	11.1
	指定相談支援事業所		2	1			3	21	14.3
	グループホーム・ケアホーム		6	1			7	52	13.5
	自閉症・発達障害支援センター			1			1	3	33.3
	障害者就業・生活支援センター		1				1	2	50.0
	知的障害者生活ホーム		1				1	6	16.7
	障害者小規模作業所		8	2	1	1	12	74	16.2
	旧身体障害者療護施設		2	1			3	6	50.0
	旧身体障害者授産施設		1				1	7	14.3
	旧知的障害者更生施設		3	1			4	20	20.0
	旧知的障害者授産施設(通所)		4	2			6	44	13.6
	旧知的障害者通勤寮		1				1	2	50.0
	旧精神障害者生活訓練施設		1				1	5	20.0
	旧精神障害者通所授産施設		1				1	5	20.0
旧精神障害者福祉ホームB型		1				1	5	20.0	

(2) 介護保険

介護が必要な高齢者を社会的に支援するための介護保険制度を円滑に実施するため、介護保険制度の適正執行への支援を行った。

1) 介護保険審査会の設置

要介護認定に関する不服申立てに対し、審査判定をする介護保険審査会を設置。

審査請求状況

審査請求件数：3件

介護保険審査会開催状況

回数：2回

2) 要介護認定実施に向けての市町支援

管内の1市3町の三四介護認定審査会運営への支援

3) 関係職種の質の向上に向けた研修会の実施

介護認定調査員現任研修

平成19年11月15日 46名参加

内容 講義「高次脳機能障害について」

4) サービス事業者指定事務

各サービス事業者の申請の受付事務（記入漏れ、添付書類漏れ等の確認）を実施。

5) 介護支援専門員実務研修受講試験関係事務

・試験関係案内配布：平成19年6月12日から7月27日まで

6) 介護保険の実施状況について

介護度別要介護認定者の状況(人数・割合)

(平成20年3月31日現在)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	
人員	四日市市	1,363	2,051	1,550	1,544	1,366	1,107	932	9,913
	菰野町	98	234	159	238	238	178	143	1,288
	朝日町	35	68	31	28	32	18	20	232
	川越町	18	84	30	86	59	49	40	366
	三 泗 計	1,514	2,437	1,770	1,896	1,695	1,352	1,135	11,799
	三重県	7,772	10,976	13,277	13,456	12,002	9,524	7,661	74,668
%	三 泗	12.8	20.6	15.0	16.1	14.4	11.5	9.6	100.0
	三重県	10.4	14.7	17.8	18.0	16.1	12.8	10.2	100.0
	全 国	12.2	13.5	17.8	17.5	15.3	12.5	11.2	100.0

(注) 三重県・全国の数値については、平成19年11月30日現在

介護度別居宅介護サービスの受給者数

(平成20年3月31日現在)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	
三 泗	人員	751	1,493	1,197	1,219	882	580	297	6,419
	%	49.6	61.3	67.6	64.3	52.0	42.9	26.2	54.4
県	人員	3,362	5,669	8,989	9,234	7,160	4,346	2,576	41,336
	%	43.3	51.6	67.7	68.6	59.7	45.6	33.6	55.4

(注) %は、県及び三泗の要介護認定者計に対する割合

県の数値については平成19年11月30日現在

施設種別サービスの受給者数

(平成20年3月31日現在)

区分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計	
三 泗	人員	1,037	970	210	2,217
	%	8.8	8.2	1.8	18.8
県	人員	6,350	5,347	1,278	12,975
	%	8.5	7.2	1.7	17.4

(注) %は、県及び三泗の要介護認定者計に対する割合

県の数値については平成19年11月30日現在(同一月に2施設以上でサービスを受けた場合、施設ごとにそれぞれ受給者数を1人と計上するが、合計には1人と計上しているため3施設の合算と合計が一致しない。)

(3) 高齢者福祉

1) 在宅高齢者の状況

平成20年4月1日現在

市 町 名	65才以上人口 (人)	65才以上人口比 (%)	一人暮らし老人 (65才以上) (人)
菰野町	8,361	21.1	488
朝日町	1,605	18.6	160
川越町	2,342	17.0	325
郡部計	12,308	19.9	973
四日市市	62,010	19.8	11,162
合 計	74,318	20.2	12,135

2) 高齢者保健福祉施設及び介護サービス事業所数

平成20年3月31日現在

サービス種別	入 所 施 設											
	養護老人ホーム		特別養護老人ホーム		軽費老人ホーム		ケアハウス		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	カ所	床	カ所	床	カ所	床	カ所	床	カ所	床	カ所	床
四日市市	1	120	11	898	2	100	4	220	6	514	5	184
菰野町	1	50	2	140	-	-	1	50	3	350	1	8
朝日町	-	-	1	50	-	-	-	-	-	-	-	-
川越町	-	-	-	-	-	-	1	30	1	80	-	-
計	2	170	14	1,088	2	100	6	300	10	944	6	192

サービス種別	居宅介護サービス事業所									
	訪問介護	訪問入浴	訪問看護ステーション	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援	
四日市市	49	5	10	58	11	12	1	14	60	
菰野町	4	1	3	8	2	2	1	-	6	
朝日町	1	-	-	1	-	1	1	1	1	
川越町	2	1	1	2	1	-	-	-	5	
計	56	7	14	69	14	15	3	15	72	

サービス種別	地域密着型サービス		
	認知症対応型通所介護	特別養護老人ホーム	グループホーム
四日市市	15	1	8
菰野町	-	-	3
朝日町	-	-	1
川越町	-	-	3
計	15	1	15

(4) 身体障害者福祉

(1) 身体障害者手帳所持者の障害別状況

平成20年4月1日現在(単位:人)

市町名	視覚障害	聴覚障害	音声言語障害等	肢体不自由	内部障害	計
菰野町	82 (4)	120 (3)	9 (0)	801 (21)	359 (3)	1,371 (31)
朝日町	13 (0)	17 (0)	0	103 (4)	61 (0)	194 (4)
川越町	25 (1)	23 (3)	2 (0)	204 (2)	105 (1)	359 (7)
郡部計	120 (5)	160 (6)	11 (0)	1,108 (27)	525 (4)	1,924 (42)
四日市市	673 (7)	1,039 (34)	115 (3)	5,266 (172)	2,922 (36)	10,015(252)
合計	793 (12)	1,199 (40)	126 (3)	6,374 (199)	3,447 (40)	11,939(294)

()内は、児の内数

(5) 知的障害者福祉

(1) 療育手帳所持者の状況

平成20年4月1日現在(単位:人)

市町名	等級 A	等級 B	計
菰野町	126 (17)	117 (42)	243 (59)
朝日町	14 (6)	10 (6)	24 (12)
川越町	33 (11)	33 (11)	66 (22)
郡部計	173 (34)	160 (59)	333 (93)
四日市市	730 (187)	918 (307)	1,648 (494)
合計	903 (221)	1,078 (366)	1,981 (587)

()内は、児の内数

(6) 児童福祉

児童数

平成19年10月1日現在

市町名	児童数 (0~17才) (人)	学齢前児童数 (0~5才) (人)	0~17才児の 全人口に占める割合 (%人)	全人口 (人)
菰野町	7,345	2,141	18.6	39,576
朝日町	1,680	751	20.1	8,347
川越町	2,656	977	20.1	13,245
合計	11,681	3,869	19.1	61,168

児童福祉施設

平成20年4月1日現在(単位:人)

施設の種別	施設名	市町名	定員	現員
児童館	四日市市児童館(北部・橋北・塩浜・こどもの家)	四日市市	-	-
	朝日町児童館	朝日町	-	-

(7) 母子福祉

児童扶養手当支給世帯数

平成 20 年 4 月 1 日現在

市 町 名	世 帯 数 (世 帯)	備 考
菰 野 町	223	
朝 日 町	44	
川 越 町	88	
合 計	355	

母子寡婦福祉資金新規貸付状況 (平成 19 年度)

資 金 名		郡 部 計	
		件 数	金 額 (千 円)
母 子 福 祉 資 金	事 業 開 始	0	0
	事 業 継 続	0	0
	住 宅	0	0
	修 学	1	648
	就 学 支 度	0	0
	修 業	0	0
	計	1	648

(8) 女性相談

女性相談事業

保健福祉事務所に配置された女性相談員が、夫からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)等、女性に関する相談活動を行っています。

女性相談窓口の周知啓発のためのリーフレットを関係箇所に配布し、警察、各市町福祉関係課、相談機関、医療機関、施設、精神保健担当者等と連絡・連携を密にして相談指導を行い、女性の福祉の向上とDV防止に努めました。

相談件数

(平成 19 年度)

相 談 種 別	来 所	電 話	訪 問	計
夫婦・離婚相談 (内、夫の暴力)	224 (196)	97 (54)	282 (271)	603 (521)
その他の人間関係	9	23	0	32
住 居 問 題	0	0	0	0
経 済 関 係	0	1	2	3
医 療 関 係	0	13	0	13
交遊・売春関係	0	0	0	0
計	233	134	284	651

5 . 生活保護課

1 生活保護	36
(1) 保護の状況	36
(2) 世帯類型別保護世帯数	36
(3) 保護開始・廃止の原因別状況	36

1. 生活保護

(1) 保護の状況

平成20年3月31日現在、管内の被保護者世帯数は222世帯、被保護人員は267人である。保護率は2.9%であり、県平均保護率の7.2%を大きく下回っている。

管内では、川越町の6.6%を最高に木曾岬町1.3%が最低となっている。

平成20年3月31日現在

市 町 名	保 護 人 員 (人)	保 護 世 帯 数 (世帯)	保 護 率 (%)
木 曾 岬 町	9	6	1.3
東 員 町	37	35	1.4
菰 野 町	121	102	3.1
朝 日 町	14	13	1.8
川 越 町	86	66	6.6
合 計	267	222	2.9

(2) 世帯類型別保護世帯数

平成20年3月31日現在

区 分	郡 部	
	世 帯 数 (世帯)	構 成 比 (%)
高 齢 者 世 帯	106	47.7
母 子 世 帯	9	4.1
傷 病 者 ・ 障 害 者 世 帯	92	41.4
そ の 他 世 帯	15	6.8
計	222	100.0

(3) 保護開始・廃止の原因別状況(平成19年度)

区 分	郡 部		
	世 帯 数 (世帯)	構 成 比 (%)	
開 始	総 数	33	100.0
	傷 病	21	63.6
	稼働収入・手持金等の喪失減少	8	24.3
	そ の 他	4	12.1
廃 止	総 数	38	100.0
	死亡・転出・施設入所等	23	60.5
	就労開始・年金受給等	7	18.4
	傷 病 治 癒	3	7.9
	そ の 他	5	13.2

6 . 健康増進課

1	エ	イ	ズ	対	策	38					
2	健	康	食	育	推	進39					
3	歯	科	保	健	41						
4	こ	こ	ろ	の	健	康	づ	く	り	42	
5	母	子	保	健	44						
	(1)	母	子	保	健	対	策	44			
	(2)	母	子	医	療	対	策	44			
	(3)	虐	待	予	防	ケ	ア	事	業	46	
	(4)	思	春	期	健	康	支	援	事	業	47

1. エイズ対策

HIV感染者は年々増加し、20歳から40歳の男性の感染が課題になっています。HIV検査件数の伸びが数を押し上げている一方、感染そのもののすそ野が広がっているといわれています。HIV感染の主たる感染経路は性的接触です。

そこで、予防のための正しい知識の普及を図るためエイズ予防啓発や予防のための専門研修、街頭キャンペーン等を実施しました。また、二次感染防止を目的に電話相談、面接相談、検査（夜間検査含む）も実施しました。

(1) 世界エイズデーキャンペーン

平成19年11月30日 近鉄四日市駅構内 ティッシュ配布 1500組
県立総合医療センター エイズに関する展示、パンフレット、ポケットティッシュ配付

(2) エイズ地域特別対策事業

エイズ予防教育

エイズについての正しい知識の普及・啓発・予防の第一線を担っている、管内養護教諭等を対象に、研修会を実施しました。

講師 東京医療保健大学 渡會 睦子 先生

日時 平成19年7月3日（火）

内容 講演 エイズ・性感染症予防研修会「こどもの心と体を育む」

対象 管内および周辺の小、中、高養護教諭 管内保健師等 77名

(3) エイズ相談・検査

	相談件数	検査件数
総数	450件	408件
男	254件	228件
女	196件	180件

再掲（夜間相談・検査件数） 114件

2 . 健康食育推進

(1)朝食欠食幼児ゼロ推進事業

子ども達が心も体も健康で豊かであるためには、食事はとても重要なものです。そこで幼児期の朝食欠食を防ぎ健康的な食生活の実践を推進するために、管内の保育園と幼稚園児とその保護者、職員等に対して食育指導媒体等の活用を通じて、朝食の大切さについての健康教育支援を行いました。また、健康的な食環境づくりを推進するために、関係者に対して研修会を開催しました。

健康教育支援

実施回数	場所	参加人員	内 容
6回	保育園・幼稚園	245名	講話 「朝ごはんを食べよう」 調理実習「朝ごはん10分クッキング」

研修会

実施日	実施場所	参加者数	内 容
平成20年1月29日	四日市庁舎	62名	講演「みえの食文化と食育の推進～伝えよう、育もう、豊かなみえの食文化～」 講師 三重大学名誉教授 成田美代氏 調理実習「三泗地域の食文化を伝えるために～保育園給食にアレンジしてみよう～」 講師 管理栄養士 西口 孝子氏

(2)食事バランスガイド地域協働啓発

エネルギーの過剰摂取や栄養の偏りを防ぐために、関係団体に対して食事バランスガイドの理解や活用を図る研修会を開催するとともに事業者や職能団体等、関係機関との協働により、地域での食事バランスガイドの普及・啓発を行いました。

食事バランスガイド研修会

実施日	場所	参加人員	対象者
5月10日	四日市庁舎	170名	四日市食生活改善推進連絡協議会員
5月26日	四日市総合会館	60名	三重県友の会四日市支部会員
7月2日	四日市庁舎	100名	生活衛生協会員
2月7・8日	四日市庁舎	69名	四日市地区調理師会員

協働普及啓発

実施日	協働団体	啓発人員	内 容
6月10日	スーパー	400名	食事バランスガイドの啓発
6月22日	農政事務所、地域活動栄養士	35名	食育セミナー

(3) 地区組織の育成・支援

地域での食生活改善活動は食環境整備を推進するうえで重要な位置づけであり、食生活改善地区組織の育成や会員の資質向上を図るなどの支援を行いました。

食生活改善推進員リーダー育成

実施月日	対象組織数	参加人員
3月7日	4組織	40名

食生活改善地区組織支援研修

実施月日	対象者	参加人員
11月9日	1～2年目会員	26名
1月11日	地区役員	38名

(4) 管内市町栄養改善支援

各市町の栄養改善事業が円滑に推進されるように、市町栄養士を対象として業務検討や情報交換等を行うとともに、技術支援を合わせて行いました。

管内市町栄養士連絡会

実施日	場所	参加人員	内 容
5月11日	四日市庁舎	4名	授乳・離乳の支援ガイドについて
8月16日	四日市庁舎	5名	特定健診・保健指導について
3月18日	四日市庁舎	3名	情報交換、次年度の計画等について

技術支援

市町行政栄養士業務にかかる資料作成支援
四日市市保健所設置にかかる業務支援
栄養教室にかかる人材支援

(5) 地域活動栄養士研修

市町の栄養改善・健康づくりを市町栄養士とともに担っている地域活動栄養士を対象に、資質の向上と連携を図るために研修支援を行いました。

実施日	実施場所	参加者数	内 容
5月18日	四日市庁舎	12名	特定健診における栄養士の役割について
5月11日	四日市庁舎	7名	離乳・授乳の支援ガイドについて

(6) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、特定多数の人に対して継続的に食事を供給する施設に対して栄養管理指導を行いました。

給食施設巡回指導

施設区分	特定給食施設指導数	一般給食施設指導数
学 校	0	0
病院老人保健施設	11	5
児童福祉施設	28	14
社会福祉施設	1	8
事業所	16	3

給食施設従事者研修会

実施日	実施場所	参加者数	内 容
平成19年 10月23日	四日市庁舎	171名	講演「災害時における給食施設での対応について～中越大震災の体験に学ぶ～」 講師 新潟県上越保健所地域保健課 課長代理 杉田 弘子氏 グループワーク「災害時の対応について」 行政説明「健康増進法による給食施設指導について」 講師 四日市保健福祉事務

(7) 栄養表示基準等に関する相談

健康増進法第26条、第31条、第32条に基づき、食品の表示等に関する相談を実施しました。

(延べ相談件数)

特別用途食品	栄養表示基準	栄養機能食品
1	18	2

3. 歯 科 保 健

歯科疾患予防に対する知識の普及と啓発を行いました。

ポスター掲示 4回

4. こころの健康づくり

こころの健康づくり強化のために、地域の家族力・介護力・育児力の回復と向上及びこころの危機ネットワークの構築やまちづくりの視点から、地域の身近なところに傾聴して相談に対応できる人材育成やこころの悩み・ストレス等への早期対応に努め、ストレスの解消と自殺者の減少に取り組みました。

【事業内容および結果】

(1) 精神保健福祉研修会 計 671名 参加

(目的)

地域精神保健福祉研修 リスナー指導者研修 職域メンタルヘルスサポーター養成研修の、3部門を1つのパッケージとし、地域における各分野での関係者の人材育成を図り、北勢地域の精神保健福祉の推進を図る。

(内容)

精神保健福祉研修会プログラム [再掲]

会場： 県四日市庁舎 6階 大会議室

	内 容	講 師	日 時	出 席 者 数
1	・講義 基礎知識の理解 (ストレス・うつ病・職場のメンタルヘルス) 専門知識の理解(PTSD・自殺予防) ・メンタルヘルス技法の知識と体験	こころの健康センター 所長 崎山 忍 氏 保健福祉事務所保健師	5月23日 13:00~ 17:00	142名
2	・講義 専門知識の理解 (睡眠障害・高齢者のメンタルヘルス)	こころの健康センター 医師 臼井 卓士 氏	6月13日 13:30~ 16:30	73名
3	・講義 疾患の理解と対応 (統合失調症・パーソナリティ障害等)	総合心療センター ひなが 医師 浅井 慶介 氏	6月25日	83名
4	・講義と演習 積極的傾聴の知識と体験	産業カウンセラー 前田 隆司 氏	7月11日 10月1日 10月29日	42名 29名 16名
5	・講義と演習 メンタルヘルス技法の知識と体験 (交流分析等)	交流分析士 山口 節子 氏	8月22日	42名
6	・講義と演習 メンタルヘルス技法の知識と体験 (認知療法等)	ポンティキュラス心理 研究所 所長 小林 展子 氏	8月13日	52名
7	精神保健福祉総論 (関連法の理解)	障害福祉室 主幹 橋倉 恵津子氏 主事 三上 政和氏	5月16日	55名
8	精神障害等ソーシャルワーク技術	障害福祉室 専門監 村木顕太郎氏 主事 三上 政和氏	10月10日	28名
9	・講義 職場復帰サポート	MDA JAPAN 代表 山口 律子 氏	11月19日	109名

(2)こころの健康教育および健康づくり研修会

(目的)

市町をはじめ、関係機関、団体等々こころの健康づくりを支援し、自殺予防およびこころの健康づくり活動の推進を図る。

(内容)こころの健康教育および健康づくり研修会プログラム[再掲]

	内 容	講 師	日 時	出 席 者 数
1	四日市食生活改善推進協議会総会 「今からでも間に合うメタボリック シンドロームの予防」 ～メンタルヘルスの視点から～	保健福祉事務所保健師	4月9日	100 名
2	四日市市リスナー養成講座 「エゴグラム」グループワーク 「ストロークと認知療法」	市保健師 保健福祉事務所保健師	6月12日	30名
3	四日市市リスナー養成講座 「アサーティブ」	市保健師 保健福祉事務所保健師	6月19日	23名
4	三重郡第1回栄養教室 「健康づくり総論・肯定的ストローク」	保健福祉事務所保健師	6月26日	32名
5	菰野町社協 子育てキーパーソン養成講座 「話の聴き方」	保健福祉事務所保健師	12月5日	17名
6	こころの健康公開講座 「ストレスに打ち勝つメンタルトレーニング」	メンタルトレーニング 施設企画 代表 岡本 正善 氏	20年 1月28日	157 名
7	県社協 テーマ別技術研修会 講義と演習 「うつ傾向な人、ひきこもりがちな人へのリスニング」	保健福祉事務所保健師	20年2月4日	22名
8	川越町リスナー養成研修会 講義と演習 「エゴグラム」 「わかちあい」 「ストローク」	こころの健康センター 保健師 川越町保健師 保健福祉事務所保健師	20年3月3日	32名

平成19年度の成果

平成19年度は、精神保健福祉研修会として、3部門をパッケージ化し、研修会を開催した。事業所におけるメンタルヘルスサポーター養成研修については事業所を中心に55名、リスナー指導者養成研修会では、10名の方が修了されました。

また、市町では、市町主催のリスナー養成講座、リラクゼーション教室等、市町や社会福祉協議会等の実情にあわせ独自の講座を開催し、保健福祉事務所が支援する形で、実施することができました。

平成20年度の取り組み

各市町でのこころの健康づくりの取り組みは、地域の実情にあわせ、展開されつつあります。

また、平成20年度は、桑名保健福祉事務所が北勢地域の精神保健福祉研修の中心的な役割を担う予定になっており、新たな展開が求められています。

5. 母子保健

(1) 母子保健対策

【未熟児訪問指導】

未熟児は身体の諸機能が未熟なため、病気にかかりやすく、死亡の危険も高く、また障害を残しやすいことから、適切な養護が必要なため、保健師による訪問指導を行いました。

年度別	区分	未熟児訪問指導	
		実人員	延人員
平成18年度		163	243
平成19年度		95	106

未熟児とは身体の発達が未発達のまま出生した乳児であって、正常出生児に有する諸機能を得るに至るまでのものをいう。

【療育相談実施状況】

肢体不自由児対策実施要領に基づき、身体機能に障害のある児、若しくは機能障害を来す恐れのある児を早期に発見し、早期に適切な療育の指導をするため、専門医による定期的な相談を行いました。

相談者数 ()実人員	検診結果	
	終了・他機関紹介	経過観察及び要治療
51(29)	28 51(廃止のため)	23 0(廃止のため)

(2) 母子医療対策

【育成医療(身体障害児対策)】

身体に障害があり、手術等の医療により、確実な治療効果が期待される児童に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行いました。

市町別 区分	計		四日市市	菰野町	朝日町	川越町
	平成18年度	平成19年度				
申請件数	180(12)	192(11)	161(10)	17(0)	5(0)	9(1)
給付件数	180(12)	192(11)	161(10)	17(0)	5(0)	9(1)

* ()は治療用装具給付件数。

【養育医療(未熟児対策)】

出生時体重 2,000g 以下の新生児、その他入院養育を必要とする未熟児に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行いました。

市町別 区分	計		四日市市	菰野町	朝日町	川越町
	平成18年度	平成19年度				
申請件数	123	87	75	9	3	0
給付件数	123	87	75	9	3	0

【小児慢性特定疾患治療研究事業】

小児慢性疾患のうち、国が指定した 11 の特定疾患については、治療が困難で長期間にわたり医療費が高額となるため、疾患の治療研究費として、指定医療機関での医療に対し給付を行いました。

区分	市町別	計		四日市市	菰野町	朝日町	川越町
		平成 18 年度	平成 19 年度				
総	数	277	268	219	28	7	14
1	悪性新生物	54	50	45	3	2	0
2	慢性腎疾患	17	20	18	2	0	0
3	慢性呼吸器疾患	3	3	3	0	0	0
4	慢性心疾患	27	31	26	4	0	1
5	内分泌疾患	109	101	72	16	3	10
6	膠原病	9	9	8	0	0	1
7	糖尿病	14	11	10	1	0	0
8	先天性代謝異常	12	11	11	0	0	0
9	血友病等血液疾患	14	11	7	1	1	2
10	神経・筋疾患	5	7	6	0	1	0
11	慢性消化器疾患	13	14	13	1	0	0

小児慢性特定疾患児手帳

手帳の交付を希望した小児慢性特定疾患児に対して、手帳の交付を行いました。

交付件数 1 件

【三重県特定不妊治療費助成事業】

不妊治療のうち体外受精及び顕微授精を受けられたご夫婦に対し、その費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を行っています。

区分	市町別	計		四日市市	菰野町	朝日町	川越町
		18 年度	19 年度				
申請件数		128	249	203	18	9	19
給付件数		128	248	203	17	9	19

【受胎調節実地指導員指定事業】

助産師、保健師又は看護師において知事の認定した受胎調節の講習を終了した者に対し、受胎調節実地指導員の指定を行いました。

申請件数	0 件
------	-----

(3) 虐待予防ケア事業

家庭訪問等による在宅支援

出生時体重が2,500kg未満、又は生活力が未熟な状態で出生しNICUから訪問依頼のあった児及びその保護者や障害児に対して訪問指導を実施しました。

児童相談所や市町等との連携の中で、虐待までも行かないが見守りが必要という家族への支援や育児不安が強いケース、母親がうつ病や神経症などの精神疾患を持つケースなどの支援が増えてきています。

訪問件数	358件
(内 訳)	
低体重児	106件
新生児・乳児	33件
幼児	82件
妊産婦	105件
その他	32件

関係機関との調整・ネットワーク会議

1) 四日市市子ども虐待防止ネットワーク会議への参加

- ・委員会(2回)
- ・推進委員会(3回)
- ・セミナー部会(8回)(子育て応援フェスタ・セミナー含)
- ・情報交換会(4回)
- ・日永地区地域子育てネット0-6会議への参加(4回)

2) 乳幼児相談担当者会議(6回)

3) 川越町要保護児童対策地域協議会への参加(1回)

4) 朝日町要保護児童対策地域協議会への参加(1回)

5) 菰野町要保護児童対策地域協議会への参加(1回)

6) ケース検討会議(9回)

研修会開催

核家族化・少子化・価値観の多様化等、子育ての状況が様変わりしている中、養育力不足・メンタル面での支援が必要である養育者や、社会適応が困難な養育者が増加しており、支援者の質を高めることを目的に開催した。

1) 子育て支援研修会

開催日：平成19年8月17日

場 所：四日市市立労働者福祉会館

対 象：管内の子育て支援関係者(保育士・幼稚園教諭・市町保健師・相談員等)

内 容：講演「気になる子どもへのかかわりと家族への支援～虐待予防の視点を持って～」

講 師：独立行政法人 国立病院機構 榊原病院長 長尾 圭造先生

参加者：59名

2)生後4ヶ月までの全戸訪問事業に伴う研修会

開催日：平成20年3月19日

場 所：菰野町保健福祉センター けやき

対 象：在宅保健師、助産師、看護師等

内 容：「エンジンバラ産後うつ病質問票」の活用について

講 師：四日市保健福祉事務所 保健師 村上富美子

参加者：12名

(4)思春期健康支援事業

増加傾向にある若者の性感染症予防に向けて、思春期の教育を担う養護教諭や相談支援者に対して、若者の感染症の実態や行動傾向を知り活動に生かすことを目的に実施した。

・エイズ・性感染症予防研修会

開催日：平成19年7月3日

場 所：四日市市総合会館 7階 第1研修室

対 象：管内及び周辺の小・中・高養護教諭、県内保健師等

内 容：講演「こどもの心と体を育む」

講 師：東京医療保健大学 渡會 睦子先生

参加者：77名

7 . 地域保健課

1 結 核 对 策	50
2 地 域 精 神 保 健 福 祉 对 策	53
3 難 病 对 策	57
4 感 染 症 对 策	59
5 原 子 爆 弹 被 爆 者 对 策	59
6 予 防 接 種 对 策	59

1. 結 核 対 策

結核予防法に基づき、結核の予防および結核患者に対する適正な医療の普及を目的として、結核患者家族検診及び訪問指導、結核診査協議会等を実施しました。

結核患者の状況は、死亡数、患者数共に一時減少の鈍化が認められましたが、取り組みの強化と共に再び減少に向かっています。しかし、結核菌塗沫陽性肺結核罹患率は依然横ばいで、その多くは高齢者です。近年グローバルな時代を迎え東南アジアに結核高蔓延国が多いこともあり、若い世代も結核と無縁とは言えない時代となりました。これらの現状を踏まえ、患者家族検診及び患者管理の徹底を図り、病院との連携を推進し、DOTS（直接服薬確認）体制の充実に努めました。

(1) 市町別結核患者登録数

平成 19 年末

分類別 市町	総 数	肺結核活動性				肺 外 結 核 活 動 性	不活動 性結核	活動性 不明	マル 初 (別掲)		非定型 抗酸菌症 (別掲)	
		登録時喀痰陽性		その他の 結核菌 陽 性	菌陰性 その他				治 療 中	観 察 中	治 療 中	観 察 中
		初回治療	再治療									
総 数	149	21	0	17	7	17	70	17	4	0	0	6
四日市市	125	18	0	12	7	14	61	13	4	0	0	6
菰野町	13	1	0	4	0	2	3	3	0	0	0	0
朝日町	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
川越町	8	2	0	1	0	1	4	0	0	0	0	0

(2) 活動性分類別・医療別結核患者登録数

平成 19 年末

分類別 区分	総 数	肺結核活動性				肺 外 結 核 活 動 性	不活動 性結核	活動性 不明	マル 初 (別掲)		非定型 抗酸菌症 (別掲)	
		登録時喀痰陽性		その他の 結核菌 陽 性	菌陰性 その他				治 療 中	観 察 中	治 療 中	観 察 中
		初回治療	再治療									
総 数	149	21	0	17	7	17	70	17	4	0	0	6
入 院	8	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
外来医療	48	14	0	14	6	14	0	0	2	0	0	0
医療なし	82	0	0	0	0	0	70	12	0	0	0	6
不 明	8	0	0	1	1	1	0	5	0	0	0	0

【感染症診査協議会】

(1) 感染症予防法第 3 7 条の 2 申請状況(一般患者に対する医療)

平成 19 年

	総 数	新規申請	継続申請	再申請	解除申請
申 請 件 数	1 2 6	9 3	3 3		
合 格 件 数	1 2 6	9 3	3 3		
承 認 件 数	1 2 6	9 3	3 3		
合格率(%)	1 0 0	1 0 0	1 0 0		
承認率(%)	1 0 0	1 0 0	1 0 0		

感染症予防法第 3 7 条の 2 (旧結核予防法 3 4 条)

(2) 感染症予防法第 3 7 条申請状況 (入所患者の医療)

平成 19 年

	総 数	新規申請	継続申請	再 申 請	解除申請
申 請 件 数	6 6	3 1	4 5	2	3 2
合 格 件 数	6 6	3 1	4 5	2	3 2
承 認 件 数	6 6	3 1	4 5	2	3 2
合格率(%)	1 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0
承認率(%)	1 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0

感染症予防法第 3 7 条(旧結核予防法 3 5 条)

法の改正(感染症予防法)により承認期間は 3 0 日以内となった。

【結核登録患者の状況】

(1) 新登録患者数(活動性分類別・年齢階級別)

平成 19 年末

分類別 年齢	活 動 性 結 核								マル 初 (別掲)	非定型 抗酸菌 陽性 (別掲)
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活動性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他			
			総 数	初 回 治 療	再治療					
総 数	66	53	26	26	0	20	7	13	4	3
0~4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
5~9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
15~19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~29	6	6	1	1	0	3	2	0	0	0
30~39	5	4	2	2	0	1	1	1	0	0
40~49	4	4	2	2	0	2	0	0	0	0
50~59	8	6	3	3	0	2	1	2	0	0
60~69	8	5	0	0	0	3	2	3	0	0
70~	35	28	18	18	0	9	1	7	0	3

(2) 市町別結核新登録患者の状況

平成 19 年末

分類別 市町	活 動 性 結 核								り患率 (人口 10万) 対	総人口 (H19.10 現在)
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他			
			総 数	初 回 治 療	再治療					
総 数	66	53	26	26	0	20	7	13	18.0	367,450
四日市市	54	44	21	21	0	16	7	10	17.6	306,282
菰野町	8	6	3	3	0	3	0	2	20.2	39,576
朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,347
川越町	4	3	2	2	0	1	0	1	30.2	13,245

(3) 結核予防第35条による結核命令入所患者状況

18年12月現在患者数	新規命入患者数	解除患者数	19年12月現在患者数
8	31	37	2

【結核検診】

(1) 定期診断及び定期外診断実施状況

平成 19 年度

区分 対象別		実施者数	予 防 接 種		QFT 検 査		間 接 撮 影 (直 接 撮 影)		
			6ヶ月 未 満	1歳 未 満	受診者数	感染者数	受診者数	患者発見数	
定 期	総 数	22,591	3,409	19	/	/	12,881 (6,282)	0	
	学 校	高 校 生	4,647	-	-	/	/	4,632 (15)	0
		そ の 他	509	-	-	/	/	389 (120)	0
	一 般 住 民	8,185	3,409	19	/	/	4,757 (0)	0	
	事 業 所	1,991	-	-	/	/	375 (1,616)	0	
	そ の 他	7,259	-	-	/	/	2,728 (4,531)	0	
定 期 外	総 数	305		*14	91	4	220	3	
	患 者 家 族	147		*14	26	3	107	3	
	そ の 他	178		0	65	1	113	0	
管 理 検 診		24					24	0	

*:ツベルクリン反応検査

(2) 一般住民検診(定期検診)市町別受診状況

平成19年度

	予防接種		間接撮影	かくたん検査
	6ヶ月未満	1歳未満		
総数	3,409	19	4,757	106
四日市市	2,803	16	3,191	54
菰野町	346	2	1,096	32
朝日町	105	1	317	20
川越町	155	0	153	0

2. 地域精神保健福祉対策

(1) 精神障害者保護取扱状況

(平成20年4月1日現在)

	申請・通報件数						通報等による調査結果の処		指定医診察結果		措置非該当の場合の結果	
	計	法23条	法24条	法25条	法26条	法26条の2	鑑定必要	鑑定不要	措置該当	措置非該当	医療保護入院	その他
平成15年度	10		9		1		9	1	6	3	2	1
平成16年度	19	1	14	3	1		18	1	12	6	3	3
平成17年度	14	2	11		1		12	2	8	4	3	1
平成18年度	16	1	14	1			12	4	3	9	5	4
平成19年度	12		12				12		3	9	2	7

(2) 病名別・措置入院者数

(平成20年4月1日現在)

	総数	統合失調症	そううつ病	心因反応	非定型精神病	急性そう病	人格障害	覚醒剤中毒	アルコール依存症	その他
男性	3	1	1			1				
女性										
総数	3	1	1			1				
平成19年度措置患者	3	1	1			1				

(3) 市町別措置人数 (平成20年4月1日現在)

	現在入院者	H19年度入院者
四日市市	0	3
菰野町	0	0
朝日町	0	0
川越町	0	0

(4) 精神障害者保健福祉手帳交付状況 平成20年3月末現在

市町 等級	合計	四日市市	菰野町	朝日町	川越町
1級	154	135	16	0	3
2級	879	771	65	10	33
3級	242	211	23	3	5
合計	1,275	1,117	104	13	41

(5) 自立支援医療費(精神通院)受給者証交付状況 平成20年3月末現在

	合計	四日市市	菰野町	朝日町	川越町
交付件数	5,294	4,451	582	103	158

(6) 精神障がい者地域生活推進事業

精神保健福祉相談

精神保健及び精神障がい者の福祉に関し、精神障がい者及びその家族等からの相談に応じた。

項目		利用者数	
		実人員	延べ件数
精神科医師相談	月1回	46件	48件(内、家庭訪問2件)
訪問	随時	38件	91件
面接	随時	82件	157件
電話	随時	189件	496件

保健所デイケア

在宅精神障がい者の社会参加の機会、安心・安全の場を提供した。

ア、金よう会

対象：在宅の精神障がい者

開催数：年23回(毎月第1、3金曜日)

参加数：実人員10名(男6名、女4名)、延べ人員162名

内容：料理、音楽療法、創作活動、SST(生活技能訓練)、清掃美化活動
施設交流会ソフトバレー大会、クリスマス会、老人施設訪問

イ、フリースペース

対 象：在宅の精神障がい者

開催数：年23回（毎月第2，4金曜日）

参加数：実人員10名（男6名、女4名）、延べ人員136名

内 容：憩いの場の提供

引きこもり当事者会（さぼてんの花）

開催数：23回（毎月第3・4木曜）

参加数：実人員7名（男5名、女2名）、延べ人員35名

内 容：情報交換、スポーツ等

精神保健福祉講座（ボランティア教室）

精神障がい者の地域移行が進められていく中で、精神障がい者を理解する人々を増やすことは不可欠である。精神障がい保健福祉について学び、地域の方々が精神障がい者に対する理解を深めていくときのリーダーとなり得るボランティアを養成する。

対 象：地域住民

* 市町広報での募集と傾聴同好会主催による傾聴ボランティア養成講座修了者から希望者を募った。

開催数：延べ18回

参加延数：実人員75名、延べ人員156名

（内 容）

	内 容	担 当
1、保健所実習	(1) 地域の精神保健福祉の現状について (2) ビデオ鑑賞 「あせらずに ゆとりをもって むりしない」 (3) デイケアメンバーとの交流	保健師
2、施設実習	わかば共同作業所、四季の里、フェアワークス下野、 障害者相談支援センターHANA、障害者支援センター ソシオ	各施設職員
3、講義と座談会	(1) 「精神疾患・精神障害者にたいする『心のバ リアー』とその家族 (2) 「ボランティア活動の紹介と体験発表」	地域家族会「ほうれん草の 会」会長 精神保健福祉ボランティア「 ハートフル会」会員

* 傾聴ボランティア養成講座において、「傾聴」及び「精神疾患の理解」についての講義は修了した。

精神保健福祉ボランティアの育成（ハートフル会の育成）

対 象：精神保健福祉ボランティア講座修了者で、ボランティア活動を希望する人

内 容：定例会への参加、研修会等の案内、当事者対応に関するスーパーバイズ

研修会

市町はじめ関係機関職員の資質向上をめざし、三泗地域精神保健福祉連絡会運営による研修会を実施した。

日時	対象	内容	講師
平成 19 年 11 月 27 日	市町職員 精神保健福祉関係職員 ボランティア等	講義 「統合失調症の理解と 生活支援」	障害者相談支援センタ ーソシオ 精神保健福祉士 下方 弘明 氏
平成 20 年 2 月 12 日	市町職員 精神保健福祉関係職員 ボランティア等	講義「精神障がい者家族 として、誤解・偏見の解 消にむけて」	地域家族会「ほうれん草 の会」会長 山本 武之 氏

家族会支援

対 象：地域家族会「ほうれん草の会」

支援回数：年 1 1 回

内 容：定例会への出席

三泗地域精神保健福祉連絡会

関係機関と地域の現状や課題を共有し、支援のためのネットワークを構築する。

ア、委員会

委 員：警察署（3名）精神科病院（2名）市町（4名）家族会、ボランティア等の代表

開催数：年 1 回

出席者数：15名

内 容：情報の共有と地域の課題について協議

イ、担当者部会

開催回数：年 3 回

内 容：関係機関の職員資質向上を目的とした研修会の企画運営

医療観察法に基づいたケア会議

保護観察所が主催するケア会議に出席し、対象者の医療の保護と社会復帰の促進に協力した。

対象件数：3件

ケア会議出席回数：19回

市町への支援

市町の求めに応じて同行訪問やケース検討会へ出席した。

四日市市	9回
三重郡	15回

3. 難病対策

難病はその原因が不明で、効果的な治療法がない、重症度も高く生活面に及ぼす影響も大きい、その医療費も高額となる、等の理由から、原因の究明や治療法の確立を図る必要があります。

国が指定した45の特定疾患については、治療研究事業の対象疾患として、医療費の給付制度があり、治療費の自己負担の軽減が図られています。

平成19年度 特定疾患医療受給者証認定状況

(平成20年3月末現在)

	総数	内 訳				平成19年度 新規認定者 (内数)	
		四日市市	菰野町	朝日町	川越町		
1	ベーチェット病	43	35	7	0	1	4
2	多発性硬化症	43	39	2	0	2	4
3	重症筋無力症	34	28	6	0	0	2
4	全身性エリテマトーゼス	141	123	14	1	3	13
5	スモソン	7	7	0	0	0	0
6	再生不良性貧血	18	16	2	0	0	2
7	サルコイドーシス	53	49	2	0	2	12
8	筋萎縮性側索硬化症	26	24	1	0	1	9
9	強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	193	158	23	3	9	16
10	特発性血小板減少性紫斑病	98	87	7	4	0	17
11	結節性動脈周囲炎	14	10	3	0	1	5
12	潰瘍性大腸炎	306	255	37	5	9	48
13	大動脈炎症候群	10	6	4	0	0	0
14	ピュルガ－病	17	14	2	1	0	2
15	天疱瘡	9	7	0	0	2	1
16	脊髄小脳変性症	55	48	5	1	1	7
17	クローン病	94	70	16	2	6	13
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0	0	0	0	1
19	悪性関節リウマチ	15	14	1	0	0	1
20	パーキンソン病	285	257	16	1	11	58
21	アミロイドーシス	3	3	0	0	0	0
22	後縦靭帯骨化症	80	69	7	2	2	11
23	ハンチントン舞踏病	2	2	0	0	0	0
24	モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	34	28	6	0	0	5
25	ウェゲナー肉芽腫症	4	4	0	0	0	0
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	103	94	5	1	3	10
27	多系統萎縮症	33	24	6	1	2	0
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2	2	0	0	0	0
29	膿疱性乾癬	7	6	0	0	1	0
30	広範脊柱管狭窄症	5	4	1	0	0	0
31	原発性胆汁性肝硬変	81	66	8	2	5	4
32	重症急性膵炎	0	0	0	0	0	2
33	特発性大腿骨頭壊死症	36	34	1	1	0	5
34	混合性結合組織病	23	21	2	0	0	3
35	原発性免疫不全症候群	3	2	1	0	0	0
36	特発性間質性肺炎	10	10	0	0	0	2
37	網膜色素変性症	35	26	8	0	1	1

38	プ リ オ ン 病	2	2	0	0	0	1
39	原 発 性 肺 高 血 圧 症	6	5	1	0	0	2
40	神 経 繊 維 腫 症	10	10	0	0	0	3
41	亜 急 性 硬 化 性 全 脳 炎	0	0	0	0	0	0
42	バ ッ ト ・ キ ア リ 症 候 群	1	1	0	0	0	0
43	特 発 性 慢 性 肺 血 栓 塞 栓 症	2	2	0	0	0	0
44	ラ イ ソ ソ ー ム 病 (ア ッ リ 病 含 む)	6	6	0	0	0	4
45	副 腎 白 質 ジ ス ト ロ フ ィ ー	1	1	0	0	0	0
合 計		1,950	1,669	194	25	62	268

[難病在宅ケア事業]

難病患者及び家族の包括的な在宅支援活動について、関係職種との連携を図りながら支援体制を整えます。

[在宅患者及び家族への支援体制の充実]

神経難病患者11件(延85件)に家庭訪問を実施、関係機関との連携・調整をはかりながら在宅療養生活を支援しました。また、所内面接や電話相談で難病患者・家族の個別ケアを実施しました。

[患者・家族の生活の質向上への支援]

患者家族が疾患の理解を深め、療養上の疑問を解決することで適切な療養生活を送ることができるよう、難病相談会を開催しました。

パーキンソン病対象 2回実施

内容:「パーキンソン病の治療」

講師:神経内科医師

参加者32名

「家庭でできる機能訓練」

講師:理学療法士

参加者 3名

脊髄小脳変性症・多系統萎縮症対象

内容:「家庭でできる機能訓練」

講師:理学療法士

参加者6名

潰瘍性大腸炎・クローン病対象

内容:「炎症性腸疾患の治療」

講師:消化器外科医師

参加者36名

「炎症性腸疾患の食事」

講師:病院管理栄養士

後縦靭帯骨化症・広範脊柱管狭窄症・特発性大腿骨頭壊死症対象

内容:「専門医からの元気が出るメッセージ」

講師:整形外科医師

参加者23名

ボランティアの育成

難病患者・家族支援の充実をはかるため、難病ボランティアの育成に取り組みました。

「医療相談事業への参加」2回開催 参加者 延4名

[地域関係機関との協力体制づくり]

在宅生活が困難な難病患者・家族について、支援者での事例検討会を開催しながら、支援目標の共有化とお互いの役割分担を明確にし、関係者との連携強化を図りました。

在宅療養支援計画策定・評価事業

筋萎縮性側索硬化症患者6例について、ケア会議を29回開催しました。

難病研修会の開催

「看護従事者研修会」

対象者：訪問看護師

内 容：難病疾患と看護の理解についての講義、病棟実習、連携のためのディスカッション

参加者：7名

「難病研修会」

対象者：ホームヘルパー、訪問看護師、ケアマネージャー、理学療法士、ソーシャルワーカー

内 容：疾患の理解の講義と意見交換

参加者：6名

4 . 感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症発生時での検病調査、病原菌検索等を行い感染症予防対策を行いました。

〔感染症発生状況〕

腸管出血性大腸菌感染症（三類） 6件

細菌性赤痢（三類） 1件

5 . 原子爆弾被爆者対策

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者手帳を交付し、被爆者の健康管理を行いました。

また、対象者には各種手当の支給を行いました。

〔健康手帳保持状況〕

健康手帳保持者数 156人

〔健康診断受診状況〕

1回受診者数 83人 2回受診者数 77人

〔各種手当支給状況〕

医療特別手当 1人

特別手当 1人

健康管理手当 127人

保健手当 5人

介護手当 1人

6 . 予防接種対策

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施が出来るよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行なっています。

8 . 衛生指導、食の安全・安心監視課

1	食	品	衛	生	62
2	獣	医	務	衛	生 65
3	生	活	衛	生	66
4	薬	事	及	び	献	血 67

1. 食 品 衛 生

食品衛生法第 52 条による許可営業施設 7,305 施設と、許可を要しない施設 3,661 施設の合計 10,966 施設に対して、4,262 件の監視指導を実施し、食品取扱者及び消費者に衛生教育を実施しました。

また、食品衛生指導員による自主管理を推進し、食中毒の予防に努めました。

食品衛生月間（8月）には、2カ所の街頭でパンフレットを配り、食品衛生についての啓発に努めました。

【食品施設数及び監視状況】

（1）要許可施設

平成 19 年度

業 種 \ 項 目	施設数	監視数	監視率
総 数	7,305	3,156	43.2
飲 食 店 営 業	3,917	1,520	38.8
菓 子 製 造 業	368	235	63.9
乳 処 理 業	2	2	100.0
乳 製 品 製 造 業	6	13	216.7
魚 介 類 販 売 業	673	585	86.9
魚 介 類 せ り 売 業	5	45	900.0
魚 肉 練 製 品 製 造 業	5	1	20.0
食 品 冷 凍 冷 蔵 業	27	42	155.6
か ん 詰 び ん 詰 製 造 業	12	7	58.3
喫 茶 店 営 業	945	78	8.3
あ ん 類 製 造 業	2	0	0
ア イ ス ク リ ー ム 類 製 造 業	108	28	25.9
乳 類 販 売 業	543	201	37.0
食 肉 処 理 業	33	23	69.7
食 肉 販 売 業	434	230	53.0
食 肉 製 品 製 造 業	5	2	40.0
乳 酸 菌 飲 料 製 造 業	0	0	0
食 用 油 脂 製 造 業	3	2	66.7
み そ 製 造 業	12	1	8.3
し ょ う 油 製 造 業	5	0	0
ソ ー ス 類 製 造 業	4	7	175.0
酒 類 製 造 業	15	0	0
豆 腐 製 造 業	15	20	133.3
め ん 類 製 造 業	39	10	25.6
そ う ざ い 製 造 業	71	52	73.2
添 加 物 製 造 業	34	23	67.6
清 涼 飲 料 水 製 造 業	9	4	44.4
氷 雪 製 造 業	3	23	766.7
氷 雪 販 売 業	10	2	20.0
旅 館 業	186	74	39.8

(2) 不要許可施設

		施設数	監視数	監視率%
総 数		3,661	1,106	30.2
給 食	学 校	86	4	4.7
	病院・診療所	71	20	28.2
	事 業 所	187	2	1.1
	そ の 他	132	79	59.8
乳 さ く 取 業		0	0	-
食 品 製 造 業		415	121	29.2
野 菜 ・ 果 物 販 売 業		551	455	82.6
そ う 菜 販 売 業		258	125	48.4
菓 子 販 売 業		949	145	15.3
食 品 販 売 業		1,004	154	15.3
添 加 物 製 造 業		7	1	14.3
添 加 物 販 売 業		1	0	0

【魚介類行商営業者状況】

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
営業者数	9	8	8	8	6

【食品施設の査定及び監視】

許可有効期間査定制度に基づく許可施設の査定を実施しました。また、食品関係営業による事故発生防止のため、食品衛生監視員(11名)及び食品衛生指導員(300名)により、監視指導を実施しました。

- ・実施期間：平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日
- ・監視施設：4,262 施設
- ・指導事項：

営業許可の確認(無許可、期限切れ)	手洗設備の消毒液の補充
健康診断の受診励行	冷凍庫・冷蔵庫の温度管理、衛生管理
施設の整理整頓、清潔の保持	原材料の品質管理

【食中毒発生状況】

(1) 管内発生状況

発生年月	原因施設	患者数	原因食品	原因物質
平成 19 年 9 月	飲食店	8	不明	サルモネラ菌属
平成 19 年 10 月	飲食店	19	不明	サルモネラ菌属
平成 20 年 3 月	旅館	44	不明	ノロウイルス

(2) 管外食中毒関連調査

調査件数	12
調査人数	32

【食品の収去検査成績】 ATPを除く

	検体件数(実数)	不良検体(実数)	検査延件数	規格基準違反	県指導基準違反
乳以外の食品	412	30	2,693	0	30
乳	2	0	12	0	
その他(ふきとり等)	153				

【調理師免許試験状況及び養成施設卒業状況】

調理師試験及び免許に関する事務手続きを実施しました。

願書提出者数	受験者数	合格者数	合格率%	調理師養成施設卒業者	免許申請者数
88	81	61	75.3	135	205

【製菓衛生師免許試験状況】

製菓衛生師試験及び免許に関する事務手続きを実施しました。

願書提出者数	受験者数	合格者数	合格率%	免許申請者数
35	34	27	79.4	30

【食の安全・安心監視状況】

食中毒発生予防のため、特に管理が必要な学校給食等の集団給食施設及び大量調理施設等重要施設の監視指導を実施するとともに、重要施設の収去検査や違反食品の調査等を実施し、併せて集団給食調理従事者等を対象に食品衛生講習会を開催しました。

また、市場に流通する食品の監視及び取扱いを指導し、食品に起因する危害の発生の未然防止に努めました。

(食品衛生広域監視の状況)

区 分	桑 名	四 日 市	鈴 鹿	合 計
学校等	6	2	31	39
社会福祉施設等	24	65	0	89
病院等	16	17	11	44
大量調理飲食店	3	13	1	17
重要施設(製造業等)	6	22	5	33
合 計	55	119	48	222

(食品衛生講習会開催の状況)

開 催 回 数	46 回
受講対象者数	福祉施設関係職員、教育機関、地域の団体等
受講延べ人数	2,494 人
受 講 内 容	・集団食中毒の予防 ・給食施設における衛生管理

2. 獣 医 務 衛 生

市町及び開業獣医師の協力を得て、畜犬登録・狂犬病予防注射及び犬の捕獲等を行い、狂犬病の発生予防に努めました。(平成12年度より犬の登録事務及び狂犬病予防注射関係事務は市町村長の事務となっています。)

また、三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、動物による人への危害防止、動物取扱業の監視指導、動物の適正飼養の普及啓発に努めました。

【畜犬登録及び狂犬病予防注射実施状況】

	登 録 数			注 射 頭 数		
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総登録頭数	25,306	25,791	26,317			
登録申請数	1,675	2,168	3,323			
四日市市	1,292	1,737	2,704	10,726	14,747	20,066
菰野町	256	287	464	2,263	2,276	2,530
朝日町	40	45	46	765	371	400
川越町	87	99	109	614	612	640
集合注射頭数				5,030	4,102	4,406
家庭注射頭数				9,338	13,404	19,230
総注射頭数				14,368	18,006	23,636

【犬及び猫の捕獲・引取・処分状況】

	犬				猫		
	捕獲頭数	引取頭数	返還頭数	処分頭数	引取頭数	返還頭数	処分頭数
平成17年度	194	105	43	256	624	1	623
平成18年度	193	87	45	235	655	4	651
平成19年度	176	56	60	172	466	0	466

【畜犬及び猫の苦情・問い合わせ状況】

区 分	件 数	区 分	件 数
放し飼いについて	220	飼い犬等引取について	147
糞尿公害について	266	死亡犬・猫収容依頼について	154
鳴き声公害について	211	負傷犬・猫保護依頼について	76
咬傷事故に関すること	40	犬登録・狂犬病予防注射について	93
野犬等捕獲依頼について	423	犬譲渡依頼について	97
失踪・拾得犬・猫照会について	644	その他	971
総 数		3342 件	

【動物取扱業届出数及び監視状況】

	総施設数						計
		販売	保管	貸出	訓練	展示	
登録数	89	70	40	4	14	7	135
監視数	40	31	18	1	5	4	59

【動物による咬傷事故状況】

	犬	犬以外
届出数	9	0

【特定動物飼養状況】

飼育場所	動物の種類	頭数
菰野町 千種	ヒグマ	2
	ツキノワグマ	1
川越町 豊田	ワニガメ	1

3. 生活衛生

旅館業、公衆浴場、興行場、理容業、美容業、クリーニング業等、日常生活に密着した営業に対して、その衛生水準の確保と向上を目指して、営業の許可・確認検査及び監視指導を行いました。

【営業施設数及び監視件数等の状況】

平成19年度

	施設数	監視件数	開設数	
			開	設
			廃	止
総数	1,499	297	38	
			36	
理容所	353	111	6	
			6	
美容所	600	84	21	
			9	
クリーニング所	470	22	4	
			17	
公衆浴場	68	75	6	
			2	
興行場	8	5	1	
			2	

4 . 薬事及び献血

【不正大麻・けし撲滅運動】

大麻、けしの不正栽培及び自生大麻・けしを撲滅するため、県民に対しポスター、リーフレット(厚生労働省編、けし・大麻の見分け方)による啓発を図るとともに、その発見に努めました。

管内における自生けしの発見は 87 地域、32,445 本あり、除去焼却しました。

不正大麻・けし撲滅運動期間：平成 19 年 4 月 1 日～6 月 30 日

【「ダメ。ゼッタイ。」普及運動】

国連決議による「6.26 国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせて、薬物クリーンみえ推進キャンペーンを実施しました。

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間：平成 19 年 6 月 20 日～7 月 19 日

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン：平成 19 年 7 月 1 日

笹川東公園にて薬物乱用防止キャラバンカーを配置し、パネルコーナーの設置を行い、啓発活動を実施しました。

参加者：地域住民 750 名、スタッフ：当事務所を含め 11 団体 306 名

【麻薬・覚せい剤乱用防止運動】

麻薬・覚せい剤乱用防止運動期間：平成 19 年 10 月 1 日～11 月 30 日

(1) 近鉄四日市駅構内ふれあいモールにおいて広報用物品の配付を行いました。

実施日：平成 19 年 10 月 19 日

(2) 四日市地区薬物乱用防止指導者協議会全体集会を実施しました。(参加者 29 名：保健所職員含む。)

日時：平成 19 年 10 月 5 日 場所：四日市庁舎厚生棟第 1 会議室

演題 1：「四日市南警察署管内薬物事犯の現状について」

講師：四日市南警察署 刑事第二課 薬物防犯係長 西山雅也警部補

演題 2：「平成 19 年度県民参加によるけしクリーンアップ運動について」

講師：四日市保健所 衛生指導課 山崎由佳梨技師

【家庭用品の安全確保】

有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づき、安全確保のための検査を実施しました。

検査物品	検査項目	結果
繊維製品(大人用)	ホルムアルデヒド	適
繊維製品(小児用)	ホルムアルデヒド	適
家庭用エアゾール製品	メタノール	適
住宅用洗剤	塩化水素又は硫酸	適

【献血事業】

管内市町並びに各種団体、献血会、事業所、学校等の協力を得て、献血意識の普及・啓発に努めました。

(1) 愛の血液助け合い運動(平成19年7月1日～平成19年8月31日)

街頭ページェント

実施月日:平成19年7月29日

実施場所:近鉄四日市駅北口ふれあいモール

内 容:啓発資材の配付及び街頭献血の実施。

(2) クリスマス献血キャンペーン(平成19年12月1日～平成19年12月31日)

街頭啓発及び街頭献血

実施月日:平成19年12月23日

実施場所:(株)日永カヨーショッピングセンター

(3) はたちの献血キャンペーン(平成20年1月1日～平成20年2月29日)

街頭啓発及び街頭献血

実施月日:平成20年1月29日

実施場所:近鉄四日市駅北口ふれあいモール

(4) 管内市町別献血状況

平成19年度

	献 血 協 力 者 実 績		
	成分献血	200ml 献血	400ml 献血
四 日 市 市	0	1	5,897
菰 野 町	0	0	509
朝 日 町	0	0	155
川 越 町	0	0	306
サンセリテ	12,556	128	1,932
合 計	12,556	129	8,799

【骨髓バンク事業推進】

管内市町、勇気の会四日市支部の協力を得て、事業に対する意識の普及啓発に努めるとともに、骨髓提供希望者(ドナー)の登録受付を実施しました。

(1) 骨髓バンクの普及啓発

平成19年10月19日 啓発資材の配布

(2) ドナー受付窓口の設置

ドナー登録受付事務及び一次二次同時検査の採血業務(四日市保健所実施分)

毎週火曜日 9:00～12:00 13:00～14:00

ドナー登録受付実績:0名

ドナー登録受付窓口の開設

- ・平成19年12月23日 日永カヨーショッピングセンターで実施 ドナー登録受付:0名
- ・平成20年1月29日 近鉄四日市駅前ふれあいモールで実施 ドナー登録受付:1名
- ・四日市献血ルーム「サンセリテ」において実施(平成19年度)日ドナー登録受付:56名

【薬事法等に基づく指導】

医薬品等製造業者に対し、収去検査及び医薬品・医療用具の製造管理及び品質管理に関する基準（GMP）の円滑な運用指導を行い、薬局及び医薬品販売業者に対し、薬局等構造設備規則の遵守指導、勤務薬剤師の店舗管理指導を行いました。

毒物劇物製造業者に対し、毒物劇物危害防止対策取扱安全管理指導及び従業員教育の指導を行いました。

麻薬施用機関に対し、麻薬及び向精神薬の取扱管理の適正化指導を行いました。

（１）薬務六法に基づく施設数及び監視数

平成 19 年度

業 種		事 項		許可・届出数	監視数	備 考	
医 薬 品	薬 局			160	144		
	製 造 業	専 業				*	
		薬 局			31	22	
	製 造 販 売 業	第 1 種					*
		第 2 種					*
		薬 局			31	22	
	一 般 販 売 業			14	15		
	卸 売 一 般 販 売 業			19	25		
	薬 種 商 販 売 業			33	23		
	特 例 販 売 業			16	8		
業 務 上 取 り 扱 う 施 設				33			
医 薬 部 外 品	製 造 業					*	
	製 造 販 売 業					*	
	販 売 業				182		
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設				42		
化 粧 品	製 造 業					*	
	製 造 販 売 業					*	
	販 売 業				326		
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設				3		
医 療 機 器	製 造 業					*	
	専 業 修 理 業					*	
	製 造 販 売 業	第 1 種					*
		第 2 種					*
		第 3 種					*
	販 売 業	高度管理医療機器等			121	87	
		管理医療機器			1,400	206	
		一般医療機器				228	
	賃 貸 業	高度管理医療機器等			51	32	
		管理医療機器			44	55	
一般医療機器					60		
業 務 上 取 り 扱 う 施 設				33			
毒 物 劇 物	製 造 業	大 臣			21		
		知 事		19	8		
	輸 入 業	大 臣				2	
		知 事		0	0		
	一 般 販 売 業			227	139		
	農 業 用 品 目 販 売 業			54	23		
特 定 品 目 販 売 業			10	1			
業 務 上 取 扱 者	電 気 メ ッ キ			4	0		

		運 送 業	18	0	
麻 薬	卸	売 業	6	20	
	小	売 業	72	66	
	病	院	15	29	
	一 般	診 療 所	90	3	
	家 畜	診 療 所	22	0	
	研 究	者	2	1	
大 麻	研 究	者	0	0	
覚 せい 剤	施 用	機 関	1	6	
	原 料	取 扱 者	6	17	
	原 料	研 究 者	2	2	
総 数			2,468	1,884	

*印は、薬務食品室が監視実施

平成20年版 三重県四日市保健福祉事務所年報

(平成19年度実績)

平成20年8月発行

三重県桑名保健福祉事務所

511-8567 三重県桑名市中央町5丁目71番地

総務企画課 0594-24-3621